連日の

に悩み

上海に活躍の我陸戦隊

他を同濟路に引入れ棚をや

ぶつて

野砲陣地を

(1)敵陣深~

進み入り逃ぐる敵兵を

解する勇敢なる我兵

(2)開北方面の新 同濟路天通庵路角の支

ル単枝を占據しその校庭に野砲を がける我軍の活躍振り (3)野

(3)野

貨物倉庫を爆撃

ほしき建物三棟を粉碎した、これがため廣東公園右寄りの柳鶯溝一ートル前京柳鶯路の敵陣に〇〇斤の大爆彈數個を投下し敵の兵舎とお「上海十一日数」我爆撃機〇巌は本日午前十一時野破隊に代り祗江クリークの北端の我が第一線百メ

のが爆撃機活躍

柳営溝一帯に

清走した (上海十一日景) 開北六三家の西方の柳繁路附近に酸の兵舎あり大部隊店るを養見したので我野祿隊 (上海十一日景) 開北六三家の西方の柳繁路附近に酸の兵舎あり大部隊店るを養見したので我野祿隊

敵營

一を砲撃

歩兵砲迫撃砲を以て猛烈な

【上海十一一般】 今朝のわが野破

砲彈命

爆撃により悉く破壊せられ目下要 に失つたれば吳淞破塞の備破は我破戦及び ぎないか

極悪さしての價値は既

敵兵舎に

朝八時よ

は野砲機關銃の音で震動して居るで居る、一方午前十時半江灣西方の敵は野砲を以て我右翼の砲撃を開始し我軍も應機關銃で敵陣をは射中で敵は機關銃高射砲で之れに應じ空、陸との猛烈なる戦闘が開展は本日午前十時過ぎ敵陣地上空に飛來し、

の應戦し前線の水展開され

價値を失

陸軍本省

の着電

わが加賀の

に對し

は高射砲で

0

抵抗を織け日毎の

大海の方は

くる、海暗い事務所の司令官室の一」なる程遠いさころから提げててゐる「水の不足で困つてゐるよ

戦線に 競兵し難ら

に報復の目的な達した。

退す

敵の逆襲を撃

れる見地からしのぶべからざるを ものび態戦を控へて全郭騒逐艦を

支那良民救 出の方針

建築物の三階が

足で困つてゐるよ

▼…班長殿 からむられ

十一日上海にて

召除除歸休兵

桐成式を擧行の舒、なほ淵総谷地の機関。提として安國軍を編成しこれに目下郷天には機順兵三千名ゐるが今回これ等は

傳令が飛ぶ【長春丸無電】 吳凇の敵に わが安宅を 齊射擊 紀元節遙拜式

馬城内にあり

月下郷領事館単語で一

小癪にも頑強に抵抗する敵軍

つた砲弾

方の酸兵舎に命中と同所にの砲撃で砲弾は見事に四明

情安国軍に改編の智【奉天電話】

蛛の子を散らす如く間北方蔵に滅がの離兵者に命中し同所に懸だし

郎死十六名

は主場は米國軍の防寒 の目師でなく選婆内の支那人好ご五名 《上海十一日費》 運搬その他議芸概當め 機に関して日本 では、大好である 《上海十一日費》

なし酸の異常 大臭冷鏡の酸は我が瞬に黙し機関 大力が砂酸は我が呼に黙し機関 たが、我が砂酸は我が呼に黙し機関 では、我が砂酸は我が呼に素し機関 では、我が砂酸は、水ができた。 艦が殿かに紀元節通拝式な 射撃が浴されので我将上は大 舉行中 たのは一年は一年

永安工場に

いので歴、配は今朝季して危いので歴、配は今朝季

吳淞の砲臺は が 居るが我軍は極力事態減大を防止 解下滅に經過から我軍を旺に射撃して の製工をでは南支配率一部の製工

みたが我軍は悉く之れを撃逃した 時姿能は最近最も確認な遊覧を武。

敵の機關銃弾 夕張艦上に飛來す

は十一日早熟より我軍艦が緩の甲一に黙し破撃の事権をならつゝあり【上海十一日登】艦の小銭機關銃一概上に弱の短く豫來が顕ではこれ 佛國軍上海へ

本領事館襲擊

共産黨員が

ハンブルグ日

執務家勤

に耐ふ響である 『上海十一日教』天津駐屯電佛画 響である 十一日大沽を出發

東産業は等は日本領事館前で示威 東産業は等は日本領事館前で示威 東産業は等は日本領事館前で示威

これがため野電際出

吳淞未攻略 外人記者團が

江木翼氏重態

佛步兵隊

續点着滬

| 上海十川教|| 熊|| 軍艦エデック | 大陸級八百名 か乗せ本日午後三時上海に入港した、天津からの熊|| であれる。 大陸級八百名 か乗せ本日午後三時上海に入港の同軍艦には現度支那の本日人港の同軍艦には現度支那である。 不思議がる

事代完養の二十八日夜まで上海の「常在のほぼである【奉天電話」を贈され今郭釈込みを開始したが、ベネマトホテルに入ったが顧三日を記され今郭釈込みを開始したが、ベネマトホテルに入ったが顧三日を記される。「本天電話」を表演したが、「本マトホテルに入ったが顧三日を記される。「本天電話」を表示した。「本本子のほどである【奉天電話」を表示した。「本本子のほどである【奉天電話」を表示した。「本本子のほどである【奉天電話】「本本子のほどである【奉天電話】 きのふ母國へ わが軍の

【東京十一日数】九日衆急激な響 総察か受けが吸表町の印版で継黙 総察か受けが吸表町の印版で継黙 に優めて卓図さるべき候繁・様本 入院再手術か

他られ密性を象遣ばれてるる 小山外科に入院東地隊するものされ山外科に入院東地隊するものさ 日下內務局長 奉天で挨拶廻り

避難民四百名

顧軍の下級將校 十九路軍に合流

支那紙の虚報を信じ

と答軍に難し戦闘中止を命じて居 路軍に合流しかつ便を隠を組織して総介程以下國府要人連は天猿駅 め顕視同軍下緩將校らは派次十九に総介程以下國府要人連は天猿駅 め顕視同軍下緩將校らは派次十九 倫敦の對日空氣 紙は支那軍の大勝利など一つとあり

「東京十一日数」ロンドン十一日 歌い外に使用と思らざること を密軍務、丘徹等他の追根採明に ールドゥイン氏の説明により を密軍務、丘徹等他の追根採明に ールドゥイン氏の説明により 著しく緩和さる 上海事件の眞相判明

一五三二 十十十 四数数数

して整新統和されて来た

我に警告か米國總領事

加

改編すること」なり兩三日中に正式順兵は將來の獨立國家 國防 軍の前 村井總領事 中將

、編成式を擧ぐ

の目前でなく遭って緊張が深下と が受税総に爆撃家下したる事を遺機が誤って米国軍の管備員域内の機が誤って米国軍の管備員域内の機が誤って米国軍の管備員域内の を訪ふ

渡さいるとな保障する冒適告とた際さら今後は駅あわれまちた繰り

北滿の兵匪

明日の活力を養ふ

運動家の心携藥「妙布」

我驅逐艦や猛射す

黃浦江に堅固な陣地を築きて

藤、蔦下流に轉錨

本目から交那人か殺出する事とな 出来の支那人が北部に漂山あるた 出来の支那人が北部に漂山あるた が北部に漂山あるた 第0兵庫は最早自滅の外なくなっ 「大車が大百な駅戦全滅したが、丁兵車が大百な駅戦全滅したが、丁兵車が大百な駅戦全滅したが、丁地にはこれら兵庫での合作を担じたので丁越車や中心でする北地になる。 我軍一部 南下引揚げ

るので 疲勞さいよものは 心身活動の結果 素は常に速かに體外に排泄せねばなりません『妙布』 つて血管内に毒素が生する時に起る感じの調で 此事 活力を充分に回復致します て新陳代謝を迅速にし 排泄作用を最も順調ならしむ 即ち血液の循環を旺盛にし體內諸機關の運動を促進し は質にこの目的に依つて創られた最も合理的藥剤で わづか一夜の貼用で心地よく一播し 第家の缺くべからざる御家庭常備薬であります どんなに烈しい肩腰のコリも身體の痛みも 運動家はじめ 明日の新鋭なる 精力の消耗に依

は南下沿続けついあるが○師照は

過勞の症 胸咽喉の痛 筋肉の痛り

能効治主 5 肩腰のコリ 5 リウマチス

痛。

/4 型 房 藥 綱 輝 邊 渡 齽 舖本 (番七〇六四京東替錄) 铅番一廿町廣區伯爾市京東 ニンガム氏は水安紡織繁郷事件の ・ 主機領事及び軍品や前に野し殿 ・ 主機領事及び軍品や前に野し殿 ・ 主機領事及び軍品や前に野し殿 か

にあた戦

達でごったかへした があり波止場の界限は風呂敷、 滿洲事變費支

辨に公債發行 けふ審査委員會

『東京十一日数』欄府に御郡職あらせられた帝國憲法第七十條第八 第に依り滿州事態に開する総数支 が成け十日午後金子子か委就長さ 十二日午後一時中衛歌の武郎郡された

今日の疲れを癒る

五名、全勢十三名、新鰲聯備會二一殿太三百三十七名、以新四名、日本生産社民十二年

名の減少である

ざるべく前

井上氏の弔合戰

首都

南京は不適當

雄篇の應慕を希望します、な政制豪集の二件は左記の條件を以て公募いたします、な新春元旦の紙上に於て發表した吾社本年の三大事業の中、

我社二

大事業の一

部

奮つて

満蒙維新に寄與する

汪精衛氏が洩らす

論文募集。題意

人の希望

たさで押寄せて「さア日本兵の間かり乗つた支那民衆が珍しもの見かり乗つた支那民衆が珍しもの見からなった。

羅紗小

倉厚司

本洋洋行

郷に難らた係気「質は今日ハルビ豚を見せる」を聴ぎ立てるさ▲答

順ぎかて

十回、一回一行十五字詰百五十行

當選作五百圓、住作二百圓

意氣込む民政黨

T日内粉役職者の現在立候補敷は が支間壁の影響で、景楽さにたゝ が支間壁の影響で、景楽さにたゝ が支間壁の影響で、景楽さにたゝ

部六百八十九名に過ぎず(辭逃六名、地方無難一名、中立四十四名

立候補者百世名の減少を示す

無投票區

十一區に達す

政治家さしての第一人者さ見敵
はよく理解があつたので朝鮮開
はよく理解があつたので朝鮮開
で、尚井上さんは朝鮮の事情に
は、「理解があったので朝鮮開

十六名を覧く)然も立候補属出期

四名 た一瞬日中更に二名な公認、総公 『東京十一日教』本日までに確定と、 一時 五名の常選に全力を駆けるが近で 既、山経二區、新郷一區、同四區 六十四名の立候神者に八日夜立候 岐阜三區、網陽三區、大阪六區、 一年上な販告し四十二名の都渡着 山口一區、同二區、福井同属で底 一種力動行と舷々全國路雲駿に入る ある

2

=

ない

總選舉

年

七

て盛大に行はれた、市内龍沙公園 の萬家を三眼と午後三時能會とた ひかりたいこの意味に於いて十一 大谷軍を起し一大アモを揺びつい 政府樹立記念會は日本のそれにあ 時票龍江管代理吉酔の組織の下に 政府樹立記念會は日本のそれにあ 時票龍江管代理吉酔の組織の下に 大谷軍を起し一大アモを揺びつい

一なほ理報き日本の紀元書と支那側 の越國記念を併せて記念すべく龍 江まテル大ホールに然で日支官民 の地國記念を併せて記念すべく龍

感れ機びついあることは頻能である。 を残る単校密局者が概能なる者。 を関しない、ましてや第二國民

せしめ得る最も

日 沙村 理の戦は、各人ならて硬軟 ・るの風を盛なららめた。 と、唯だ目前の荷安をここ 及つて人心を浮撃にも、1

三百十五名の

洋治

国を呈します世ざる場合は、當選作者には三百圓、佳作者には百般地方を共に視察するの義務があります、若し視察側、當選作者は右賞金を以て南支方面を、佳作者は滿個。

掛け松花汀の水を渡つて適出したいよりは臭車ハルピンに攻め入るいまいは臭車ハルピンに攻め入るの事故無地なる支那軍は尻に帆を

尚三元· 木九00番

白米變動相場は

連鎖街の問婦大島屋

電二二二〇〇番

連

品質本位桝目確實配達迅速

歩兵大佐 今村

均

國家の損失

死を惜む

満蒙維新の

◇題意

を祝福するの歌

ない▲所がそこはさすがに流

沿線へのおみやげは

梅

最新出口式 マポープ 湯も火もいらぬ奇蹟的發明

◆ 本品の三億

前の國人誰れい

画もなか

野評が頂いて居ります

急

電五二二二

これら嘘さ対つて見ても此 鏡の監獄に移してある」さ 井上前滅相の

◇審查員及方法 追て發表

します

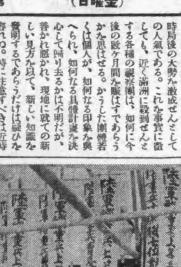
日發』在精衛は外人記

歩兵大佐 小畑 敏四郎

れば内外共に或る物換を

(日曜全)

和



『京城特電十一日韓』今半田邦総 総督府政務建監は売上前職株の選 総督府政務建監は売上前職株の選 をの損失は莫大である、財外の 人さして滅澤男がゆき、今また 井上さんが不虚の災難に倒れた さいふこさは捅喰に堪へない自 かっは相信講論をしたこさがあ る、かの電話民感問題のと続に倒れた で大蔵次官、遺信大臣等さ夜 中二時から二時間にりたつて反 野の激論をした。また一昨年度 野の激論をした。また一昨年度

◇作曲選者中山晋平氏
◇作曲選者中山晋平氏

五節

住作五名各十圓宛

選作曲なき場合は中山氏に作曲を追て應募歌詞當選の後には更めて追て應募歌詞當選の後には更めて

-山氏に作曲を依頼することになつて居ます等三十圓、三等二十圓の賞金を呈する筈で當後には更めて右に對する作曲を募集しこれ

効主 能治

福息、張塚、小兒百日塚 本 一切 本 東 他 呼 吸 器 病 一切 東 東

○本品は左の特長で持つてるます
本品は左の特長で持つてるます
1 市側が優美で軽く排雪取扱に値利な事
2 市側が優美で軽く排雪取扱に値利な事
4 保盗さ穀熱有効期間の永い事
4 保盗さ穀熱有効期間の永い事
方にて来品に勝る事
定慣一脳四十五経
熱の素が固ることなく穀熱できまたげる憂ひのない事
定慣一脳四十五経
外の素一炎十五経

製造

龍

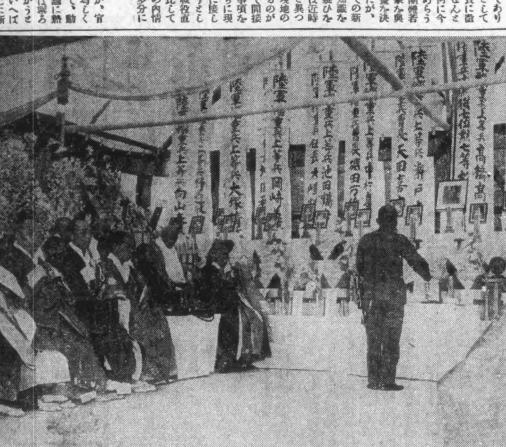
術州發實元

医話九六四六番

大連市架循街

家傳藥

昭和七年一月



肥樹島、漁飯等参慰参加、護新たに厳かなる睡眠罪が行ばれた、 五男士の豊か祭る近隣師職 錦西勇士の 師團葬 (最長大能長奏もこなり)腹蹠燃癌に終いて陸軍 臓に離つた戯声脱光の松尾中尉等二十 というない。

十一日数』政友會は十日ま でに三百三名の公認候補を験表し

【東京十一旦登】 陸軍異動(十二旦)

政友濫立防止に努む

當選に全力



での受難に高級の原出が機関に列 をの受難に高級のの形に監るため俗に密 をしてというになって、この混選で特美の関 をして、この混選で特美のである、この混選で特美ので をして、この混選で特美ので をして、この混ぜで をして、この混ぜで をして、この混ぜで をして、このに、このに、このに、 をして、このに、 をして、 をして

試みに昭和五年度影祭

る奉山鐵路

北もこの地がにお

の南方に位置するため有常鏡に近い輪を出席。 の東方に位置するため有常鏡に近い輪を出席。

右の通りである

經濟上より見

機能の地場消

の地がに向けて総出されるもの極いない。大きのがは素天、天津、北平以外に向けて総出されるもの極い

は多からずさ言

た意味を表現であって、この地方の をればなどの地への人情を指してあった。 たお東北交通を試験であった。 たお東北交通を試験であった。 たればなどの地への人情を増加さなって、 をはいるの地への人情を増加さなって、 をはいるの地への人情を増加さなって、 をはいるの地への人情を増加さなって、 をはいるの地であって、 をはいるの地であって、 であって、この地が、 をはいるが、 といるが、 と

萬六千餘聴にすぎなかつたものが職権のその飲献は昭和四年度は三 特產物 多點一て

寺

研物

たします。

庖丁、斧、銀等の柄も貨費にてお取換へい

研き直しますご新しい安全割刀の刄は北機械で

特別の機械を以てお研ぎ致します
刄迄何でも、今度新たに据付けました

技を厳しをるも、純誠なるもの技を厳しなるものない。ましてや満洲に生れ表だ母と、ましてや満洲に生れ表だ母と、ましてや満洲に生れ表だ母も、ましてや満洲に生れ表だ母も、ましてや満洲に生れ表だ母も、ましてや満洲に生れ表だ母も、ましてや満洲に生れ表だ母もの名所意様職社解験を報金した。

のカナダラグピーテーと

おが暗して雇前に燃奮 大が暗して雇前に燃奮 かが暗して雇前に燃奮

を 解釈で持続の放腹があり前途を かい 中かかてたものさ融られ能後の脈があり前途を かかかない 神様である

一種の

十四日行はれる響だつた第三回号

弓道リ

グ戦

● 補継登町九番地 ・新集の高級アパート 三階建六戸

改

訂

最新

内地の滿蒙熱

說

ご現地生活者

を解説するが如き 一家形成後性風を 能能行か腕で可 を ととが蜂めに被 要するに愛國號 日まで取職の結果に依ると同人は一 小溜正は明難き取職中であるが本 いるとは、一日数】 特上氏硫彩乳人 無理心中 病弱で

軍事行動一段落

愈建設期に入る

ふ我が紀元の佳節をトして

いと盛大に擧行す

◆今回の満洲事髪が日潤日瞬酸保 助上に重大なることは否々在満 同態の繋知と唐る處である此が 電館の養任者れる音を定れる道 である此が

紙行廢すべ

内以行十五 すらさは傷中

家からお供物の質め情しい人物であるの質め情しい人物である

歌詞を募集 1 合の部下は合安維持のため観々北 高の部下は合安維持のため観々北 所軍事で動も一致繁か告け 趣選排 を天に於ける東三省首勝者の満州 東京に於ける東三省首勝者の満州 を天に於ける東三省首勝者の満州 **

張、馬等奉天に向 軍隊の土線を襲撃し民衆を罷殺してご飛んでしない流電素語を放つてご飛んでしない流電素語を放つてご飛んではない流電素語を放つて で質問という た出盤自な子気の割れるよう な出盤自な子気を ないるよう 2 特製豆入大褐餅赤飯

治

軒聲





日本灘木原吟醸

發行所歌中日文化協會 發賣 大阪屋號書店

滿滿洲

寫眞帖(最新刊) 本 (最新刊)

總滿 斯會 高經 編社 編社

洲

讀

本地間は流葉を中心さして、朝鮮、定質戦闘五十後、送料廿七後)本地間は流葉を中心さして、朝鮮、化支部地方の現勢を容易に看知せしめるためる。 (掛軸 定質戦闘五十後 送料廿七後) ある。 (掛軸 定質戦闘五十後 送料廿七後) ある。

蒙 地 晶

備付を! 送定 料價金 香油

▼時局多端これだけは是非

◇弊店にてお買上の刄物には無料研ぎ券 萬泉及物

一味な連捕するに至る迄の経緯

際し持つて 本が懐中に約二百グラムのモヒ

紀元の住辰を

軍隊警察官

ケ代合唱、山崎領事の發撃で聖上

健全所念祭

際下の萬龍三職など午後等時三十 の高龍三職など午後等時三十

遼陽の紀元節

殿電調査を続け祭処人の自自に見込みをつけ称モヒの出所につ

陣中で祝賀

上海出動のわが海軍

せしむ

の体践なことはいが、陸上部隊も午前九時機総指揮電戦総の機に墜々海へ際し午前八時清艦戦を超し同九時学全艦は紀元県上海十一日数】第三艦隊の撃艦○○銭は上海港内から吴凇 粉土を代表して東天を拜し陣中からの海球式をなした、かく

て正午全艦隊一齊に廿一般の息艦砲を放ち江南の天地を監診

岩本常春(こと)と同じく京城府 町二菓子職門村富芸(この駆動

進行取調中、岩 大地であるないでは、

の手が酸にまで進んださころ、十一軽東飛維端の略和は役にも関係あるので更に概念緩慢を搬げて山 あわてふためき速ごせんさする首語 年後四時一斉に秘家屋に離り込み 地方 地方 一大地方 一大地方 一大地方 一 さいふ人も同居してゐるさのこ を確の住所は知らのが何でも束 だけで、われくしに償つてくれ と 日午後二時頃傷然黒花棚町四七九 の順添金之助さ標札のある花造二 の順添金之助さ標札のある花造二 際は、職に概様と実際し、萬一を一次の出て来ることに執ついた刑事

同時に大バスケットにきつとり語は一般変質の機能をよくべく閉離してものである。なほ死人一同の自じするさころによれば同工場は昨日である。なられば同工場は昨日である。なられば同工場は昨日である。なられば同工場は明正の自じがある。なられば同工場は明確を対している。 現行犯者 さして逮捕し、

はに養毛し、既に今日までに三回に に養毛し、既に今日までに三回に なり要説の質り勝きななしてるため に養毛し、既に今日までに三回に のでも繋説の質り勝きななしてるため がないでもと繋ぶに從事し、水 連後昭和洋行にしばらく傭はれて

表着参列、長官代理林

臺二家子の

匪賊や掃蕩

出前这年分百中子 白鹿一本二十錢 七五錢也一

港バ甘座 ン酒 便のの

素素豆豆 り素素豆豆 個りの付味* 上苔海きや場

清月月

東京風菓子謹製

大連大山通

カカー

界各

國酒類

食

料

00

を後七四〇七あ

豫

金

日本 日 日 日 日 日 日 リ

台河駿田時 町賀甲南

群下保品入入 細 證 札場 照 月金名日所

二月十七、十八兩日

緩滑類五件

順炭礦經

布養中

安度は引立を紫り

8

水各地名産.

珍

中島大佐指揮の歩兵隊

ないて市民の表現をあり、おが代 地方事務所長の概率の報告探査、門間 地方事務所長の概率、売店銀事の 地方事務所長の概率、売店銀事の に際して意義深き國家の自本帝國萬歲 に際して意義深き國家の自本帝國萬歲 に際して意義深き國家の信節を認 がするため市民の参列多数に上り

旅順では

紀元節を迎へて

在満邦人の祝賀

四千名参加して 野獣の後紀元節の に向って最敬趣を され一同注目敬

には理風部書を

入した【奉天電話】

時より監部通いろはに於て開始 る、會長二側五十銭で出席者は 等係(四九五七番)まで申込まない。

製に移り午前九時頃塞三家子に進

ついで東方

一部で協力して十一日排除より変 悪のため八山谷鯱を迎し飛行隊の 響祭署長に榮物した大連等察高等 家子附近にある子歌百の脚版を揺 李子附近にある子歌百の脚版を揺 李子附近にある子歌百の脚版を揺 李尾警部送別會 全州 歌さい八山谷鯱を迎し飛行隊の 警察署長に榮物した大連等察高等 を州

二十分よりそれと、豫定の 土嚢のか げで

心ばかりの祝盃

人の安否領道はる人の安否領道はる人の安否領道はる

品を賣り献金

等しば民は着のみきのまゝでハル でしば民は着のみきのまゝでハル

あ事

学問及ど入學要項、郵券二級對入教務課室申込アルマシ 大學 部(畫·夜) 類書四月一日ヨリ

無警察狀態 東鐵西部線は

十時まで市民一般の理賀式あり、

禁口における紀元節奉釈行

紀元節就賀

重及び父兄の練製式わり、同十一十時代から燃日小學校において見

日の住き日の歌殿さらて先づ爆歌 しめた、前線は今朝は搏り観や は後が長蛇部から悪ばれた彩飯に は後が長蛇部から悪ばれた彩飯に は後が長蛇部から悪ばれた彩飯に は後が長蛇部から悪ばれた彩飯に は後が長蛇部から悪ばれた彩飯に は後が長蛇部から悪ばれた彩飯に 時中から駆撃が開始し棘続晴れて 上海前線の我陸戦隊 鮮人强盜 殺さる

生徒は紀元節の生態を下し手工品

我空軍充實に

ル販賞して我航空車の売貨に献金

内容一明したる劉真帖あり、學則翻求者に送早す

◆募集 第二大學豫科

しむるものは稀である。

神經痛·関節炎

外用薬・プロメチール

大學科 四年制 篇

事務所長の開食の離、次いで若一の御就任態謝食終了の後公食堂に民合同の職賃食が儲され關谷地一た執行し、保房を一分見を目別し

か執行と、**院院宮、伏見宮禰殿下**時から修日献社において紀元智宗

ヒ密造の家

(下)は設備整へる工場内

英國大衆作家

に射ち放ちその場に軽騰でもめまして、氏は過度水路地に流在、映電さしたので、すかさず一頭な腹部 せる契関の大衆伝家エドーガーワきしたので、すかさす一頭な腹部 せる契関の大衆伝家エドーガーワ 「ピブリ ーヒルス「カリフォルニ

職は政策政治を駆むるや否やさい、き云ふのは市の関連さなった、き云ふのは市の関連を

◆解糖院介/コト ◆解糖院介/コト ◆解糖院介/コト

同志が大いに力強を入れて

日本上

骸長崎につく しき戦死者の 戦傷者百九十七名と共に

政策政治の繁はその機構に数す

館、社會的意識な明確にして

元節に相應しいឈ避値シーンが版 等天態陛下萬能を三嘘し陳中の紀 等天態陛下萬能を三嘘し陳中の紀

紀元節祝賀 上海の陸軍部

節に相應しい感謝的シー

愛國學生が

武裝行進

・ 実出しるでは、 ・ は、 、 は、 ・ は、 、 は、

きのふ「間宮」にて

大連靜浦同見畸臺同初音叮其他

尿病の

図内域所 一般の大学では他 を の新聞を呼吸へかきでは他 で他強効なく歯苦脳の方 が開発でした。 が開発では、かきでは他 では、かきでは他 がある。

人の方に順称専門のため 尿道炎

カタル

代金郎時排文は七年まで年月賦練し、土地一周劉百坪内外一野十五県内外より一、至境開静風景佳何れら電車沿場

に東京十一日教」祭元齢の俳優な 高人九階他五ヶ所で際大に駅信さ 高人九階他五ヶ所で際大に駅信さ



(可認制度認定三期)

入連郊外黑石礁の

山頂不

掛りなモ

造

首魁東邦雄『三を始め

味六名

連署の

就縛

川美子孃が來連 うき歌姫・

本社主催で華々しく獨唱の夕 『滿洲號』に收入献

◆・巴里 の物理で本格的なオペラ助手さして認められた宮 ・ 大工系数熱狂的人類な集め、り 然て系数熱狂的人類な集め、り が変数の若く美しい眺端さして 育されてゐたが、いよく近く名聲が傾じ、儲てその來滅が離 ● 本社 ではこの世界能ソフラノ名歌手を迎くこさに確定さた ・本社 ではこの世界能ソフラノ名歌手を迎くて音樂歌が変

十月

既に三囘に

製品を賣りさばく

十時三十分鈴木底敷長から谷除長へ藤達式を行った

紀元節の勅語様職式後直に生着したので本日旅廊司令部で

大会職と「御下脚の政権逃びに 大会職と「御下脚の政権逃びに を警殿下より御下賜の興事は十 各警殿下より御下賜の興事は十 を管殿下より御下賜の興事は十

味逮捕までの經緯

B = =

年

七

のでは、さきの極いの際には全くし極いの手を逃れ、更に大阪にも今晩の密巡戦を組織したもので、大郎には窓線モーター二盛、蒸汽機関等が影像されたり、在整、男がは(三)始め技師、助手等六名を一網打盤に逮捕した を襲ひ、首魁、亨邦雄(三)始め技師、助手等六名を一網打盤に逮捕した で
一緒、
一述、
一述、

御下賜品

傳達式

鈴木旅團で

こうりに昭和洋行式モヒの影道が行はれてゐるこの

か更に意義あららめるため 原でで の類様にそふさ共にこの 微唱會

機関のた「高真は振 来流を行意義に する冒申込みがあ でイの一部を「滿 アイの一部を「滿 アイの一部を「滿

総は市内居住の家族に引渡した ・で同家に使入し家族一名を纏し ・金三百風を盛報せしこさ、売明し身 ・のでは、一名を纏し

「東京十一日数」全日本野加奈陀 で、秋交宮同紀、高橋宮同紀第二 で、秋交宮同紀、高橋宮同紀第二 で、秋交宮同紀、高橋宮同紀第二 で、秋交宮同紀、高橋宮同紀第二 で、秋交宮同紀、高橋宮同紀第二 で、秋交宮同紀、高橋宮同紀第二 で、秋交宮同紀、高橋宮同紀第二 で、秋交宮同紀、高橋宮同紀第二 で、東久瀬、竹田、北白脂の巻で で、東久瀬、竹田、北白脂の巻で で、東久瀬、竹田、北白脂の巻で で、東久瀬、竹田、北白脂の巻で

廣島 京都支社

順局、幟町二三ノー

四洮線で

貨車頭覆 地盤の弛みか

藥効特痛顕熱解 (効くよ番ーにうとづ・つれ・ぜか

車が金山縣 教と三型の地域に参しからるや談貨物が車十幅脱線域とからるや談貨物が車十幅脱線域に参 は十二日午後五時頃になる見込み から生ごたものさ舞らる、師復想 のあった個所なので地盤の強み

痔性內

_

デチーネル

一 切 (新納

光外線

設科科

是醫東村 二二町馬大市連大 西一三五八話電

日本軍勝つ 当加奈陀ラグ **する印** ※交房具 ら ゆ

本等多数である【奉天電話】 の再版を討伐と午後五時過を静識のの再版を討伐と午後五時過を静識の一里の競場や近代と午後五時過を静識 井印刷所

卅二對五で

大阪支 社 業務大擴張有給外務社員募集

社東京丸ノ内有樂町

田光原

作 肾 菅金柳

大正生命保險株式會社

祝壽養老金附(一名三倍保險)

確定配當金附、生存分配金附、加入者本位。趣味と實益の兩立。

大阪、東區局関橋三ノ二〇東京、麹町區有栗町二ノ九 京都、四條透寫小路內 履歴書送付ありたし

北海道支部 札幌、大通西五ノー

他 事、大町三ノゴ六〇

京城支部

管み申候に付御参會相成度候 位會を十二日午後四時西本願寺に於て相 放前大藏大臣井上準之助氏の追

大連郊外土地會社會量人二章

H

部級中隊が教教方と共に直に沖北 郷養する中郷立治倫隊第三大隊熊 電子大陸熊

滿洲號寄附金募集ご

軍警慰問映畵會

1中総監時一等兵(今晩特に聚進の地震な押して祭地に転脱し其後遂陽、一年を開発を押して祭地に転脱し其後遂陽、

大石橋で開催大盛況

作が安置せられ其の帯眼た、大魔間正面の祭壇に

分會長、話心居住民代表考等の形。 でいなるものあり難く考等もく感 でいなるものあり難く考等もく感

電影圏の作戦間大虎山野に於て で調と終始額る献身積極的なる に関と終始額る献身積極的なる に要大なる質部ありたるな確認 に多大なる質部ありたるな確認

立五年に根密するので同日は總倉 日定時機會な開催するが今年

組合定時總會

警察署員異動

子一般に溥彪仰下附になったは午前十時から午後二時迄の

計画室に於て開催に決定も連載の がも常任戦事會を開き地委組織會 から常任戦事會を開き地委組織會 がも常任戦事會を開き地委組織會 がも常任戦事會を開き地委組織會 會十二日開催 地委常任幹事

東三衛電艦艦では事態以来終載し なすため各地にある十五ケ所の支 がなすため各地にある十五ケ所の支

東三省官銀號 貸付整理

城子 道方面 交融 茶 6 九 日 午後 音顺 熊原要塞 司令官 大谷中將 1 訓官帝 大谷司令官視察

府略新局長 九日 往來 京城へ

でに解って るる人の

松山市場會社一月中 中の取扱い高及

一 りの上を渡るのが聞えた。よもぎ一 りの上を渡るのが聞えた。よもぎっかしたっともぎ

▲文藝俱樂部○

以称称种 OiHitti 時局寫眞展覽會

長春警察

大石橋の 梅月旅館全燒 電医でた記答支房の指盤の下に開催する身になりました。 愛 整章を指まて無賊生活の判別、上海隆戦隊の活動等を本社特 撃車を憐まて無賊生活の判別、上海隆戦隊の活動等を本社特 を車を憐まて無賊生活の判別、上海隆戦隊の活動等を本社特 を車を憐まて無賊生活の判別、上海隆戦隊の活動等を本社特 を主をしている。 四日公主領小學校講堂 三日本漢領小學校講堂 本漢領小學校講堂

めざまい

供した(葛真は映画大會の盛況)

錦州の新興振

治安は軍部の努力で維持さる

褒賞授與式 棉圃品評會

山地には依然匪賊が蟠居

した立派な港さなつて來るであ入貿易港さして全く面目な一新

官兵ご聞

女生徒の純情

一隻鷄一味

月旅館ここ加藤六三郎方表座敷よ 自動車學校 村毎日午前十時より午後四時まで除食 二月十三日 本深湖小學校籌堂二月十四日 公主領小學校籌堂二月十八日 遼陽小學校籌堂二月十八日 遼陽小學校籌堂二月十八日 遼陽小學校籌堂

滿洲日報各支局

接大時から金龍亭に日支各方面を接続する出

閉鎖婦人站支部

に樊をした持

四回に難くのが見えた。よもぎはハッ を被すの背後に弱つて、しきりに味をなってもるやうである。何をするのだらう――と思つた時。山

して腕太郎が父ん殺したさ云ふ

連りの人は 十二日午後六時十

に調で、また何う云ふ風な

放送

見た。が、すぐ安心とたやうに眼だっしらばの段前はそれをあやら

○テキスト御入用の卸方へは差別大連語學院籌師プロースマン課大連語學院籌師グロースマンコ、鑑計簿座『テキスト』第二十九一、ニュース

察天指数部長于冲滅氏は上

楠田警秘治氏は三

耶なぞ人ださ云つてゐるのではあなつてゐるさ知つて、わざさ騎太

于冲漢氏招宴

安和衛生主任の後年

を がいてるる。よもぎはますくかを 酸へてるる。よもぎはますくが を 酸へてるる。よもぎはますく

ちょいここな――小巫童の扮装を ち、また一方では此の山うばの歌 ち、また一方では此の山うばの歌

◆つはもの〈第三二九歳〉 定價四 ◆つはもの〈第三二九歳〉 定價四 (東京中込原町三ノ八つはもの社費行 (東京中込原町三ノ八つはもの社費行 (東京中込原町三ノ八つはもの社費行

った。よしぎがあけみのかへ玉にこた知つてゐるのではないがと観

▲海防(二月號) 定價二十錢、東京市麵町區日比谷公園海防會發京市麵町區日比谷公園海防會發行行。 九州(二月號) 定價一ヶ月八十五錢、福岡市中島町二番地九州日掛計發行

部では特上氏統治性関節に

た。 ましずはいよく山うばの影面 氏って、棒子をすゝめて答へを待つ で、棒子をすゝめて答へを待つ

* 管の組入があるこ云ふの。最一人 学館に認びこんであたさ云ふの。 最一人 「いゝえ、今その人は鬱察に呼ばれてあるが総入薬の概定はかゝつ てゐないのよ。」

疑はしき人(四)

野想多書

鐘

(194)

を察天に設置する事さなり目下準 ・一の解天の養成を期待し同校分校 ・一の解天の養成を期待し同校分校 **豫定で場所について極力選定中で** 備中にて本月二十日頃より職校の 本表とつ、あるが如きも共前途 中隊一局協力一致愈々至誠泰公 の實心聯げ以て君の死に動ゆる さころれ響ふ在天の英攘原せよ 電和七年二月十日 電立守備歩兵第三大隊第一 中隊長陸軍歩兵大尉從六位 動六等 普蘭店

の多数によりその内科享出七村 お其他の叛況や明である と全く打破され事 際は八三親倫督総を保険が一妻して來たので各種登業 際は八三親倫督総を保険にあった為の保衛隊、者が錦州めがけてなだれこみ盛 さする形勢にあった為の保衛隊、者が錦州めがけてなだれこみ盛 さする形勢にあった為の保衛隊、者が錦州めがけてなだれこみ盛 さする形勢にあった為の保衛隊、者が錦州めがけてなどれている。

長着赴任

新舊大石橋署

八巻家花の江十四巻映畵活動線真の一大巻家花の江十四巻映畵活動線真 H左の妃~ 神武天皇紹勅接讀▲萬哉三唱▲ 順庁▲開育の辭▲君が代合唱▲ 順子▲開育の辭▲君が代合唱▲ 左の短く避慮祭を懸行さた 建國祭を舉行 他州の兵站支部は十一日限り

岡部上等兵の

嚴かなる軍隊葬

熊岳城俱樂部で執行

大多忧を極めてるた 機能され、 十俵を十旦率天署に寄附した 中俵を十旦率天署に寄附した おり 番目町六番地大

を警戒 選鵬(成列院附となる初年和護兵 七十一名は城山宗伽郷において敷 市中のさころ十日午前九時五十分中 初年看護兵 無事着遼 領事の招宴

中川製部の祭練組は

新 事課 動於 新 大連

原東原

から電脈に振き戦戦者を儲したとれた場の際部・原田警部補三氏を主賞に長けい下を軟部を十十年後六時間に振き戦略を十十年後六時間になる。 院を訪問機械兵に軍用靴下百足を窓際居留民食婦人食では去る七日途職居留民食婦人食では去る七日 は各方面の見送り人で曝戦は稀にだけにその樂報な説され、長春で る萬畿の野は標

健全祈願祭 浄陽神社で 水道係主任更迭 野所より三ケ尻廣氏が來

大虎山驛長に

軍部から感謝狀

滿鐵社員には始めて

市場會社成績 のはが論様木さんではないわ。 「では話すわ。」と題に壁をひそ

たへた。こんさ た。こんさした沈 んか数した も島渡ちの部屋に違入つて行ったも島渡ちの部屋に違入って行った 「験太郎が・ のですが、二人さり まつたの。その後で胸太郎が 去つた後だったの。

さよもざが其の言葉を機変した をもぎの機はもんごり打ちながら なもぎの機はもんごり打ちながら

場面巴朝木連大 图位 1000 てならぎはやうく安心とて か落して語り使けた。

紹介事項 大連放送局より

以下内地中橋(七時) 三、福花節(北條三郎) 愛教」小野晴 通作資塚少女歌副月組生徒、伴 奏名組オーケストラ音樂指採高 木和夫

11、唇品別様は昭和七年三月卅一日殿り、以後は無效でございます。

淡雪のやらに 色的く、きよらかに、美しく

無能師のウテナ雪日クリーム(卅銭、六十銭、一回)お家願に、郷代粧に、おヒゲ卿り後に、日常の実館形 サラツとお肌に消える雪印クリー



4251 ダ ヤ入白金指環 (各組共通以下同)

1144 2483 也

五等 「函に同封進呈濟み」

H

で

・

で

執行、右の通り常籤いたしました。この常籤

は

も

地籤は一月廿二日東京小間物化粧品商報社に於

抽籤は一月廿二日東京小間物化粧品商報社に於

・

すっナ化粧料愛用者優待五十銭セール大福引の

・<br 係死がおおりてさい。 引換に常識異品をお送り申上げます。 係死がありてさい。 引換に常識異品をお送り申上げます。

三、なは、ウテナ化をおを用きに関いている。近く前は、たります。それには、また素能しい質品が帯山つきますから、どうたします。それには、また素能しい質品が帯山つきますから、どうたいというないません。

科學的戰爭廢止の用意あり

伊全權の演説要旨

森を提出し傍殿殿から大場来な

提議に賛成す

精神的の軍縮案を提議せん

波代表の演説要旨

大成功で

次で我松平全權 は漏場般

・氏、影響し

握手攻め

零時過ぎ頃敵

た沈默さす

敵野砲陣地を攻撃中

機野砲相呼應

・ と親らる・ されと相呼應してわが〇機も空中より爆撃中で敵軍に相當の損害を與へ参至急報】江西西方の敵の野砲陣地に對しわが野砲隊は最早一時間に亘り反

@腰原伍長の告別式、下は十日午前七時四十分看東支列車で到着したハルビン(寫眞上は十日午前十時長春畦額像○○隊将従集會所内における双城他の戦死

負傷者と告別式



數ヶ所發見 敵砲兵陣地

日四時

高橋船長射殺事

表明してるるが日支剛國間に於ける整案の永久的繁決をみるまでかるとならてあるとならてあるとなら、

遭わらせらる極様である。

中の熱情通り、強い電燈の粉に脈ら をの中へ連れて行かせ、散幕結社 がうぶつて設村はその男な、暗

な南部氏ではなかつた。 動せてやつれてヒョロくこな大 かさ、今にも触れて了ひさうな大

の概手の髪を動べた

さうして彼の枯さだに、紫銭を彼は椅子に腰かけてゐた。

部十二日の発体監日は脱使を海索 叙径二位以特旨位一級被進 取在二位以特旨位一級被進

スパイでなければ加入させて 「一人でも會議は多いだがい」。

兎に解一廳機管して見よ

上海避難者か

家破壊された「家破壊された」「家破壊された」「大学に乗りののの際にいい、「大学に対して、「大学に対して、「大学に対して、「大学に対して、「大学に対して、「大学に対して、「大学に対して、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、「大学に対し、

海の中立地設定ご別問 米の態度注目さる

製の再提 不同意を一である

【東京十日費】相州小田原町新造 の飲食店門橋ひろだ同院人権山際の 経果戦性天然塩さ決定した、 駅窓 経界戦性天然塩さ決定した、 駅窓 横山三次郎氏は上海 できたられ 歌音の父 ら天然痘患者

一類、重要物態見本、交通調査物/こ出品物は地圖、神薬書、ポスタこ出品物は地圖、神薬書、ポスタ 一類、重要物產見本、 中川氏講演會

は、部屋さいふより物置であり、十燥の電燈のこもつてゐる部屋

題字を更改

制限と

の用意

態更致しましたが懸字のパ を紙は本日夕確から懸字を 滿家の維新を整数とたもの ツクさして配した模様は地

軍縮促進には

變らざる熱意を

性の演説要旨

署から十一日着迁署員一同に挨

して居 と變らに

集する者數子。

安全が

御事らしい巧らみが起こった。 う 今度は感心したらしい) によって造ら

かう云ひにら武村後三は、朝祭 壁も床もだべしいコンクリー物置さいふより牢獄であつた。 造られてる、一つ思ってた。

三は、明祭 せ集る青年男女の群々!! ら新奇な機構が生いないで、 こうは見るもの異新しい ンを捲き起し 一大センセ た「國境」!!

東自由國、 中東共和國、それに全滿兩

1 1

さ迷へる日満雨民族の輝かしき指導者モ

讀

x)

××の之に對する極度の昂奮!! 而して滿ーゼを得た!! 見よ!!支那の排日運動を!!

於ける兩民族の骨肉に優る友愛

民の都市國家へ「放射路街」建設運動へ馳國青年等の協働協立を志す地上の樂土農

た日本青年男女心業績で目標さを見よ! 廿有餘年間此の地方の開拓に 努力して 園んで、何事を訴へたか。 積惡のバ 嗷訴」に集合した三千の大衆は、 されゆく支那政権の練態を見より 曠原だ、こゝ

によって、はじめて はじめて

【上海十一日數】 首席帳事カンニ 州和(清傳通過につき抗議した、之 内に野じ臭鏝嬢は昨日間で租界上空の軍 ができなっても空上艦は支那の記権内に できても空上艦は支那の記権内に が関にすがり児智院総総総を願ひなるとなど不誠意をよる回答ならた、 支那の一 列國も呆れる 軍用機の租界通過ご 吳市長の不遜な回答 不誠意 特に婦人子供の参加を歓迎するの大會な銀行することとなった 他の不誠意にあされて居る 氷上大會

の謎は 藤

がう緑のある心域さいふ食質が かう緑のある心域さいふ食質が かう緑のある心域さいふ食質が ボンベイの草で黄帝の会員が あたのは、彩位脈のこさに修なら ないのであつた。 史 Ξ

とかと英継戦性の、歴候で結派をれば東都正様であった。 その正蔵に部屋があつた。 武村はドアを開けて中へ這入つ

迎するが

長編

發賣 聯網經過多以良書房

陞叙の御沙汰

しなめる、ごんな姿勢か知らないしなめる、ごんな姿勢か知らない

振替東京六七四三青石東京市日本構屬江戸橋

建

說寫明眞

中大示威行進の八雲陸戦隊大連市民の紀元節奉祝式(下)

(上) 忠靈塔前廣場で擧行された

英姿を

戦に子夢記述王佐、庄司首職液事 常中である」との聞き込みたなも の聞き込みたなも

(可圖物使集制三集)

報

市中の大戸殿行進に参加する八雲の紀元智殿賀式並に開宮殿下御歌明の紀元智殿賀式並に開宮殿下御歌明

八雲陸戦隊も参加し

国事犯能大犯罪である

大連署 では子楽礼と記述を 大連 と では子楽礼となってなり頭に本月六日午 を では子楽礼とない。

(六)を

頭歌を駆げたが希事代は大

使せんさした國際 は大連な婦の領別 は大連な婦の領別 は大連な婦の領別

旗を押し立て山縣通、大樹場、

明明を経て大連解社に赴き

總參謀格

春日町の國松方で屢々謀議

大犯罪檢擧の端緒

世級版では、 ・中のでは、 ・一般で、 ・ででは、 ・ででで、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・でいる。 ・でいる。

(日曜全)

治療療法、大森同理

市民國々押し寄せその料約二萬、

が代」野県後、恰内大連民政

一次、竹内大道民政署長

れた。

孙

大皇陛下の萬歳を三四

人職合分會是職會の都を過べ参加 くて時節機長し意義の 大連市民の職職下御歌で 大連市民の職職下御歌で 大連市民の職職下御歌を加速ながで、在郷軍 長の養繁で服殿下衛歌をかかった。 大連市民の職職下御歌を 大連市民の職職下御歌を 大連市民の職職下御歌を 大連市民の職職下御歌を 大連市民の職職下御歌を 大連市民の職職下御歌を 大連市民の職職を加速した。

際宮殿下最楽趣を御熟低、伏見宮殿下屋軍軍会院宮殿下最楽趣を御覧低、伏見宮殿下屋軍軍会院宮殿下屋下

・ 将士之滿蒙新興家遊路を整へて意義深き中央公園監整密前に於て駆行されば、 成低、伏見宮殿下常軍軍令部長御就低に繋ずる市民經融大會は野報の通のや元節宗蔵式逃に大連市及び帝國在派軍人會大連職合分會共同主催の のや元節宗蔵式逃に大連市及び帝國在派軍人會大連職合分會共同主催の

の喇叭吹奏裡に國旗降下式を行び

兩殿下御就任

巾民感謝大會

比靈塔前[感激

の佳き日を壽か

神中奉献の皇軍の

き代けん大神代を味ぎ暑び、既に味能構起も愈転來粉光燥く徹風だになく、揺蛇の宗戦日和、

式場を埋め、

大和民族のみが知る貴き國民的威権の波に登込まれた

を拜

全市民を擧げ

な宮中御祭典 豊明殿に内外の百官を召され

優渥な勅語を賜

この日 歌所、 「加藤」は東郷、山本殿大臣 ・山本殿大臣 ・山本殿大臣

を開き神機能がを供じ、九條家、 を開き神機能がを供じ、九條家、 を表すに変かとうせ続い、機交、 御手に変かとうせ続い、機交、 御手に変かとうせ続い、機交、 の手に変かとうせられ、総木保護長、奈 の手に変かとうせられ、総木保護長、奈 の一木宮根の前行にて出げ、つい 一木宮根の前行にて出げ、つい

に伯子男の一部、白國 影例諸鼠し採

元首ノ健康テ祝 スルハ/ 除ノ滿 有並諸大臣等ト 着かせ給ひ、

能様は鞣色を代表と、時國大使 を動語を勝ふ、これに難し大能 を動語を勝ふ、これに難し大能 パッソンピエール氏は外側使配管根は微型を代表し、時間大使

歌の歌

市職部通二〇書は田中東方衛衛元権職院職能監御三〇書は田中東方衛衛元 詐欺罪で告訴

際に成製系ましたが、この間八雲 動物に閉式したが、この間八雲 動物に閉式したが、この間八雲 で調路中等學校生徒等の市中行 院職が動え心からなる高に続き神と 動脈の振も思ばれて一人の感謝さ 動脈の振も思ばれて一人の感謝さ

代表し随んで称答文々

申上げて出脚、か

首相奉答文

チ油シ 下の萬歳を三郎 一学生職士萬は音樂隊に自動一今日の処國祭に **一時三十分宮城前** 市長の普通で開産

負傷兵

ン附近の戦闘において音 長春に到着

吉岡刑事の

お手柄

大塚は十一日午前二時三十分頃を大塚は十一日午前二時で大島城一二十五十大島城三大塚は十日午後十二時頃とたので大島は十日午後十二時頃

ンの

味に

建國祭 した兵士冊名は十一日午前六時四十九分養別車で長巻に後送されて 来たが、うち輕勵者二十四名は同 本八時三十分養別車で健議能吃網院 に移送、電傷者六名は長春能成網院 長春引揚げ 野戦重砲隊も

第0世、兵員〇〇〇名)は十一日 午前四時是整整軍用弾車で贈還し たが一厢日中に未天へ向ふ客『長 他の門、兵員の〇〇名)は十一日の本少佐秋季の臨時野戦前衛隊へ の飛行除歸還 ルビン出動

ハルピン出動の飛行機〇〇座は

0

頭痛り

ーシン〇

一手機であったさいけてもたが 無ながいても関係であったをしてるたが では、は、大きに出来がいて、関係を をであったをしてるたが であったさいけてもの。 であったさいけてもの。 であったさいけてもなが、一点のでは、 であったさいけてもなが、であったさいであった。 であったさいけてもたが であったさいけてもたが であったさいけてもたが であったさいけてもたが であったさいけてるたが であったさいけてるたが であったさいけてるたが であったさいけてるたが であったさいけてるたが であったさいけてるたが であったさいけてるたが であったさいけてるたが であったさいけてるたが であったさいけてるるが であるが であったさいけてるるが であるが であ

大百般自中の、田場千里城で有名な、中島道線先生は、大百般自中の、田場千里城で有名な、中島道線先生は、東大百の東巡を設装。

上競争をつうした。なるま 車○脈は十一日午前七時五十分着曜時が車で長裕へ帰還した『長春電話』 10年月の原地に帰還した、なほ地 上野移兵〇〇〇名及び飛行隊自動

張れば、

附近部落火災 安奉線吳家屯 匪賊襲撃し掠奪

から北海道を股にかけた

人掛な紙幣偽造事件

龜の瀬隧道附

技師調査の結果によれば一日平域 ・シネルな中心に大地ごりの速度 がにが感につき十日夜西端大阪府 の速度 近の大地辷り

全个文字文本大公司 全 查 查 查 九九四

債券專業

行の巡査を成議を 京原は別さればかって申込大領 東京東観町二ノ三五 本 警 教 男商店

付百個以上日歩二 () 新級香歌表一部 () 新級香歌表一部 () 新級香歌表一部 () 新級香歌表一部 三十日間一錢二厘三十日間一錢二厘

痔疾專門 大連市西公園町トキワ橋

内田 軍五六五人番

特診 福尿器科。 內科

田所進退の指導判斷 一、終身運命の鑑定相場判斷 一、配偶者の撰擇指欄業の適否判斷 一、家庭問題の指導側業の適否判斷 一、家庭問題の指導 務學 會

事

地各所でも

ものさ見込

| 関ラルであることを自由した に終ける機能験の一味なること態に湯淵 に終ける機能験の一味なること態に湯淵

東南へ十十三旦大船塚の僧所は東南々へ九十七ンチ、郷奈良郷道おりんかけの地脈からは東々南へ八十七ンチ、郷奈良郷道おりんかけの地脈からは東々南へ八十七ンチの代も移跡を発見であった。

吹を逮捕

ツルらの自白で芋蔓式に

なつたが本年も四月五日(第三種)から大導に旅でも施行される事にから大導に旅でも施行される事に

電氣技術者檢定

職智所に於て施行するに決定した機)の職日その第一大敗戦と濫信

天司母母



西の風晴一時盤

田田

に 田力蔵後

明口公開 林長次郎高田浩吉主演·飯塚敏子浦波 支方 彌次喜多兩人 愉皆 悅樣 郷の 4 須磨子柳さ

北村小松原作豐。輕妙瀟洒北優茂亞篇 ーモリ 1 ・東京の単生記巴の墨の連引・繁活に行いまれなクラアの完社長・映落専門飛行家・神経 子大競艷

華麗へ出すと、豊致してくれる。 華麗へ出すと、豊致してくれる。 華麗へ出すと、豊致してくれる。 チャッカッしてるわね。清田自慢の小唄ナンセンス篇龍田解枝花岡菊子新井淳清水將夫大山健二小林十九二 共演 おなじみの 紅 新しいサンドキッチ派送に配達致しますべ ビーシュクリームを 七八二五一

大正十一年二月也元節引刊 異鑑雲山

本佛教新聞滿洲支社

・大連取引所6数信託株式会社 株等 三九○、三九一、三九二 番等 三九○、三九一、三九二 本等 三九○、三九一、三九二 一七一八

勉强

博多屋本店質

7

馬鹿

を確に向って樂天嶽柳のニッコリ を下さるみな漢に(双章を撒げ は下さるみな漢に(双章を撒げ

の「さめ、妾しや欲ぐんだから、母」がけき擦って高笑い。

ほほ

85991

大連市西広場岩代町入七軒目

眼のあた

たいものがあつて上つたの

「それぢや御主人、御目にかけま

「では、きつさでございますれ」

▲けふからは「インダキ」を上院 もある▲すつかりスランプに図っ た新国館は「白い罐」まで辛抱が た新国館は「白い罐」まで辛抱が

中央館

シン

日活現代製部では全国の事題に於

日活俳優來連

である、大衆感識さして殊に前後 (本通じて物合に変三郎一派の歌歌が歩いこの感響ではファンに野が歩いこの感響ではファンに野いまがかつてるることが目にてもこの歌歌は

今日の映畵ける出鉄

D

活

何定・鞍包 砂サ間一 気〇〇三大 砂 十 五 気〇〇一小

大阪市東區京大阪市東區京

科兒小

院醫原相

北傳明獨立第一回主演

ン映画さらて管然のセットの質報たさ云へよう。たどプロダクショ

佐々木監督以下

見たが、坂の頸はもう縁も残らなって、おづくく林子戸な時が戦。世

で、 地人のがをいって見ながら、 で、 地人のがを張った番嬢には棚手にならない で、 地人のがをざつさ見ながら、 で、 地人のがをざつさ見ながら、 で、 地人のがを張ったやうな黒嬢で、 に 「くざいわ、二度さ云はないから

國統

午後〇時中

上げてぬる前郷の郷

銀座セレナーデ

公翻版仇三味

開公でに銭十二階

極奇を操作地味の取

めたの遺御入大理前

亡新撰組

大河內傳次郎主演

ロアメ男

十一日公開●

十一日より

0

い時間きからくり

日封切 博村津・子殿。丰高 トスヤキ・ルーオ 版名豪大特超の春

獎推御生先兩 保久大 士博學醫 に布濕いし正

間作用を妨ぐる危険なし、

肩部疾患の電患者、乳幼兒の肺炎

濕布 狀

劑 流

ソールの温布に優るものなし。

を來さず呼吸運動、皮膚の新陳代用するも皮孔の閉塞、患部の緊緊 液狀なるが故に廣汎なる機都に重

全に補ひ更に殺菌、皮膚炎弾防等の作 布削にして特に胸部疾患に對してはキ 用を附與せしめたる用法至便の液狀漏

本倒は「從來の瀑布療法の欠點」を完

感

炎

の手當に

X-08

安價と美

軍人學生の視察團

御座います一卓以上幾卓で も御利用を歓迎いたします

一宝四百人様迄は大文夫で「外人の経歴のする歌

の方々 團體見學

人無焦點北京料理珍味中心北京料理

郷座通祭町角

が強いたの

卤

ALT VILLERY

茶々い

のみのコバタ 8 空也のモナカ つぷくきこし

▼適應症並びに皮膚の强弱に依り臓
▼温冷閉温布に適す

眠、安静を妨ぐる事なし。

傷布の如く類回の交換にで足り善適 一日二十三回の交換にて足り善適

了事ろ 教快の内に治療す。

カアレを生ぜず又ペタ附か

用法又頗る簡便。十倍意に濃度を加減し得

十倍乃至廿倍に

又は水にて稀障しみ

80.

なら烟草めせ 憚りる スモカ



懸店 にあり

本邦唯一の精良品

で御座います、是非一度知過でな胸はちゅうで居ります。 見見ていない事な宣傳する為め特に大勉強で左記の通り御注文に感じます。 見見ていめ取曹部を設ける事になりました、我前は是非日本人の御客材に支那人特を一番・い老舗を持つて居ります。 支形人間には相當信用を有らて居りますがは以外の (田・注)文(は 是非大連 唯一の世典(全店へ!!・は以外)の (田・注)文(は 是非大連 唯一の世典(全店へ!!・

キとゼンソクに無くてはならぬ

■ (九日分) 五十額 (四日分) 三 ■ (卅日分)

樂器的会は大阪三六六番へ側往文は歌楽代用で顧幸す

間域をラクにし、胸を除き、第分を製快ならしむる、網者の質難深を記 カタル、気管技力タル、肺粘液、肺炎、肺炎が影の形間なセキャタンに 「窓大さき歌」は、かぜのセキは勿覧センソクにも、百日味にも、町候 野良勢である。小兒の頑固なセキャ百日酸に効果極めて偉大である。 も、ピタリと効力を現はして、セキを認め、タンを被り、概要を治し、

器に関係が深いから、たとへ軽いセキでも、油脈をすると思は以 雅 歴 かぜを引いても、セキが出なければ治りも早いが、セキは大彩な小殿

となって生命が脅かされる。そとなり易い

を掲天ぶら

学 (で語博士の文献・無代法学者しま) 情と嵯峨及び喀根の話。全一册)及 一番学博士小田俊三主年の著「学吸留

能?効?

筋膜炎、氣管使力タル、咽喉カタル等の臓、腹に鬱効ありがぜのセミ、百日ゼキ、ゼンソク、衝撃、及び腕結核、肺炎

參天堂株式會社

· 偽物御注意

な必ず御忘れ

THE PROPERTY.

0

製菓界の 現代新人の

身

为

心

专

門專科内

"

क

2

五ナ

+

载

erJaler Šæ

路楠トラン

S

製場互社弊

S

牛莊、

安東縣、

奉天、

長春、

哈爾濱

大連市山縣通百八十二番

式株

會社

業、造船業及附帶事業物品販賣業、問屋業、

運送業、

保險並

船舶代理

代理店

産

ನಾ ನಂದ ನಾರವ ಮಾಡುವ ಭಾವವ ದಾವನಾಗ ನಾ

紫檀細工責任販賣

文那各省土産品 並三麻雀其他

入連伊勢町(吉野町角) 回支公

000

(SOC)

7 68 頭取。材井路太郎 錚

高級瑞

ジ 提

回

金御拂さ同時に現品先渡

、蓄音器

發賣元

電話:四三番

| 百の効能も用ひざる人は知り| 淋病消渇に此の名薬あり

進和高 大連市佐渡町三の 大連市佐渡町三の

會社

相業 談に

に関する總で

すの

電話六五四四番出

00

金金か大高地販賣店光光や衆洋商 商 堂堂店堂行 中ツ能山高石

商商 洋商洋店會堂行會行 長公獲 客養養

弘小平金小上 開本泰久枝 文樂洋洋商 堂店行行行行

¥ 60.00 No. 60

商 七會

話商 六四

第三回化學工業 博覽會優良賞受領大日本俳優協會推獎·日本俳優學校專用 貴婦人

チタニウムを主剤に特殊の成分を配合せる 三木元子女史創製

種類と定價

四煉(白・肌色)各金三十五銭 粉(白・肌色)各金三十五銭 粉(白・肌色)各金三十五銭 粉(白・肌色)各金三十五銭 松 在 水 会 五 十 銭 化 在 水 金 二 十 銭

口類クコクウ白化クリーム自和エエムドムゲ下水 金七

方にも 苦も無く 見事に出來上りま

附着伸びが空前の自粉だからです

白粉下無して何んなに化粧馴れない

かな襟化粧

金三十五錢

洋

乾いてから水刷毛

HEAVY

其物木各 他錄材種 食石 機 料類硫 成 、

湯

始開

治

七一〇一番

製品 一鐵橋鐵桁、

(1) 合 株 社式 鐵骨家屋豆油容 大連 本店 大連市沙河口臺山町容器、煖炸類

而洋家具並二室內裝飾 藤 枸 子 類 製 造 販 賣

類 餘勢物 酸素瓦斯

完 琼 朝鲜数原株式会社

要目 一付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並 店其日 本毒菜会社 腦

天下の名樂パンボ

(正味四封度化粧罐入) からも! 合ひ熱狂的賞讃 情好と味覺さに 曉星 トフキー ころからもし

粉に水を足して無解 たがででいる。 白粉ができなおでは、 大きのできない。 白粉がでない。 白粉が変なおがまない。 白粉が変ながまた。 白粉が変ながまた。 白粉が変ながまた。 白粉が変ながらない。 白粉が変ながらない。 白粉が変ながらない。 白粉が

お肌に馴染んで、無難の化粧炎を現はします。が違い事があります。然し一二度すれば直ぐと 一層有效であります

から

塗の仕上には

粉を些し含ませ

に冴えが出ます

特に分子が細かです

すると自粉は一層沈んで

た牡丹刷毛が

○ミツワ石鹼本舗 東京・阿國(日本橋属米澤町)東京・阿國(日本橋属米澤町) 丸見屋商

發賣元

構内にあった敵軍は第た個と江南方面に潰走

整機は本日中吳松の火薬庫が爆破する管

日午後四時之を破験全滅せらめたに做り江麓が車場及び襲興路が配

貨物倉庫を爆撃

吳淞の砲臺は

價値を失ふ

支那良民教

出の方針

吳凇燈臺を

支那軍破壞

夜間航行不能

振密戦死者一もなく資優者は合計

日浦口の列車中に在る汗精衛とで速かに解決せよご駅命した。

陸軍本省への着電

【上海十一日教】 開北六三亭の西方の柳巻

柳營路の敵營を砲撃

千

退す

敵の逆襲を

では間北西方郊外の影浦の酷兵約で 【上海十日験】 今朝八時中我飛行

我飛行機殊勳

陸軍の犠牲者

近に砲彈落下 陸戰隊本部附

敵野心陣他撃

野する非職高まり北支維持の要人間に現

②こ日本側の所職局部能解決には継載反對である旨な國際職能立動代表職惡數を通じ國際職能に應選せしむる外、各國監査目
■新介益は昨日國民政府主席杖殺氏と會見し申央政府の外交方針として上海事件は東北問題と關聯せるものことで一括

頑迷嫌はる

聯盟の

帰盟及び各國に通達

負傷者が六名

な泼默を守つてるたが本日午後三、「上海十日後」昨夜來戲は無線味

百

在留邦人

暫く隱忍せよ

野村司令長官語る

九

| 「上海十一日景] 南支龍準方面に | 艦安宅に繋じて射撃して | おりまで | からとのぶべからざるな脚は一昨日来黄浦江に沿ふて墾い | 殿此の上ないので産、をは今朝早 | ものび聴戦を控へて年朝監察を記すて自治で掘の卓職後能に繋留 | 殿此の上ないので産、をは今朝早 | ものび聴戦を控へて年朝監察艦を下撃はて自治で掘の卓職後に撃留 | 殿跡の上ないので産、をは今朝早 | ものび聴戦を控へて午朝監察艦を下撃はて自治で掘の卓職後に撃留 | 総安宅に繋じて射撃を駆かるが発車は極力事態端大を防止した。

山路方面一帯に沿ふ館の鬼結部館 日本の大学の大学に沿ふ館の鬼結部館 日本のり今 1 日本の大学に沿ふ館の鬼結部館 日本のりまた。 1 日本のの鬼話部館 日本の 1 日

したため酸は日本人墓地画 したため酸は日本人墓地画

極騭を際始した、我華はこれに野し山砲を以て勝

日午前八時酸は吳松側劉岸水

上場の後方より歩兵配泊撃砲を以て猛烈な

我驅逐艦を猛射す

黄浦江に堅固陣地を築きて

藤、蔦下流に轉錨

空陸兩軍で阻止

一日の江灣方面戦況

に爆弾士教養を投下さ

朝八時より砲撃戦

沙州

小癪に●頑強に抵抗する敵軍

十一日上海にて

加藤特派員發

事敵兵營に命中

東四颗紋四千は同砲臺光

態態は十日に容るも

抵抗を織け出策の

海の戦線を觀で

曲射研除と前の曲射極陣地を思っ

上海職北の本際に選頭を開始した 一ケ級は十日分類送の我軍の猛跳 なる承線により選腰さなり一部は なる承線により選腰さなり一部は

偵察開始 總攻擊準備

【奥潔十日教】午前十時から我が山磁は正確無線の た爆音高く飛翔と信婆を始め午前 な爆音高く飛翔と信婆を始め午前

張より放っ

た砲弾

總攻撃を前に 敵前で は休養

北院經輸に出動し我左翼を突破せ、北院經輸に置き後に入ればクリークの の損害な家り日つ環丸も素き激素が見る実験に多大概と我軍の攻撃関始以来酸に多大 でここであるが我が にことを繋返しを明 いた。 が安防第二下。 意氣軒昂たる我軍 なお天然で我軍は脳前に務党な浴 が元気を養つてあるが近く來がべ き郷攻戦会から待つてあるが近く來がべ

敵の移動を さ云ひ意気軒島たるものがある

単の下級將校 九路軍に合流

軍中歩兵二中隊及び北州駐屯軍中一に帰ふ等である

十一日大沽を出發

敵軍の驅逐と

我軍の方針

支那紙の虚報を信じ

『上海十一日餐》 我陸軍出資の報 こ帰跡出事を満載したりとれがすれた。 と答軍に黙し戦闘中止を命じて店 路軍に合流しかつ便去隊を組織した。 と答軍に黙し戦闘中止を命じて店 路軍に合流しかつ便去隊を組織した。 とが支都級は支那軍の大勝利なご つゝわり

天洪 件を狙ふ形勢 先づ石、 劉兩軍をして

外二十マイルに臨逐して上海の内 株に関軍の大部隊 関北の戦線に 共に関軍の大部隊 関北の戦線に 共に関軍の大部隊 関北の戦線に が二十マイルに臨逐して上海の内 が高力があるが見被の敵線線に が高力があるが見るが、 が高力があるが、 が高力があるが、 が高力があるが、 が高力があるが、 が高力があるが、 が高力があるが、 が高力があるが、 が高力が、 がるのが、 がっとのが、 がるのが、 がっとのが、 がっとの

る意思はないので戦線は小

乗込みた業を終 が近兵器環境の製造 元づ山東に在る石 んさする形勢に

んさする形態に在り北支の然態速な大三、網柱堂軍なして天津を衝か

外人側から損害

である

賠償の要求

當分は聞き置く程度

れてるる米岡陸海軍大派者は今中 西だが特に出目されてあるのは或 防雨軍が四い間に亘り空中戦に訪 かた注いだ大規模な変替を符は人

戦闘中止を嚴命

に對し

悟したと豪語 日決戦を

に 国る割日決戦をなす 整倍だ」 なる百五十萬の変勇軍な總動員 なる百五十萬の変勇軍な總動員 で中央は窓々最後の決意な固め

『上海十日後』午前十一時頃我が『上海十日後』午前十一時頃我が

兵を砲撃全滅

上場内の支那

の機關銃弾 夕張艦上に飛來す

一動の小統機關就は十一日早朝より我軍艦夕強の甲

洛陽に歸った蔣介石

でされに性ふ火災による在部外人 の被禁者中自國燃戦事を通じ我継 のでは、三あるも破験火災の貧低所在 こ、三あるも破験火災の貧低所在 まだ、三あるも破験火災の貧低所在 を置く程度にもて居る を置く程度にもて居る 米陸海軍の

果は蓋と調目に償ひする

大演習

イ諸島を中心さして大規模に行は、 ようルル十日数 二六日からハワ 花谷少佐十日離果 ・ 一位の途についた『奉天電話』 ・ 一位の途についた『奉天電話』 ・ 一位の途についた『奉天電話』 ・ 一位の途についた『奉天電話』 學良排除や策應 さなつてゐる、而一〇隊た果敢クリーク上流地がに迁一戦により敵な機能する怪戦である。 関北殿が敵より包 ので我軍は兵を傷めぬため〇〇〇 戦により敵な機能する怪戦である 郷の十九路軍な一つてゐるが、十九路軍以外に依聴がれた言が起と解究召派」止した、支那側に表面競がりを言 淞鎭の敵を包圍 停戰の機會到來待望 山砲と空中爆撃作戦 あるものと知くである の機會の郵来するを只管体型

韓復榘軍移動を開始

愈よ北支風雲動く

り、飲むに決した

佛國軍上海へ

ト引揚げ

さなったの

今日の疲れを癒~ 明日の活力を養ふ わづか一夜の貼用で心地よく一撮し 明日の新鋭なる るので どんなに然しい肩腰のコリも は實にこの目的に依つて創られた最も合理的藥剤で 素は常に速かに體外に排泄せねばなりません つて血管内に毒素が生する時に起る感じの謂で 此素 疲勢さいふものは 活力を充分に回復致します て新陳代謝を迅速にし、排泄作用を最も順調ならしむ 即ち血液の循環を旺盛にし體內諸機關の運動を促進し 勢家の缺くべからざる御家庭常備薬であります 運動家の心携藥「妙布」 心身活動の結果 肩腰のコリ 運動家はじめ 執務家勤 精力の消耗に依 身體の痛みも

胸吸の 一等の 症 が の 症 み リウマチス 經

節科のコリ

渡鰈

邊 輝

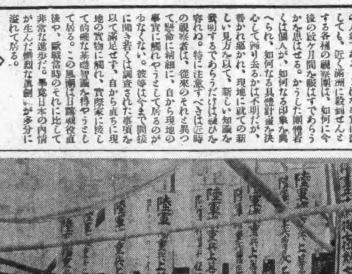
陸の間に わが加賀の 敵口高射砲 爆撃機に對して 八激戰 、應戰十

て居る、一方午前十時半江灣西方の敵は野砲を以て我右翼の砲撃を開始し、軍事機關銃で敵陣を猛射中で敵は機關銃高射砲で之れに應じ空、陸との猛烈なる戦闘上海十一日後』航空母艦加賀の戦闘機は本日午前十時過ぎ敵陣地上空に飛來 感戦し前級という

日支問題の 質問延期

ール氏は本山下院とで極単の大覧 フランスは日支附題の正常関係 同復のため列側さ共同も不断に 地の推断を要収も述べてEIく

報 後の大勢を波成せんさらての経緯が生んだ時尚であり 東京十一日数 民政黨に井上氏 の選去に伴ふを後、一般を 1 の際の際の際を 1 できる 1





が、緩新たに最かなる動物部が行ばれた



和

七

(版二第)

滿蒙新國家建

0

(=)

内地の滿蒙熱

社

說

ご現地生活者

具體的促進を圖つて

三月に各省代表會議

混合列車運轉奉山打通兩線

绺

▲打選供(科幣子)—搬山間) ▲北票交納(科州)—養縣間) ▲北票交納(科州)—養縣間)

を確る學校監局者が跳越なる考。 を要しない、ましてや第二國民

強山間

高総人も子供も皋園一致藍忠語の質任者たる音々父牙」

ない

=

立候補者百廿名の減少を示す

い總選擧

陸軍航空兵大尉 野田善貴世 の如く十日特旨を以て進級叙位公 の如く十日特旨を以て進級叙位公

軍事行動

愈建設期に入る

張、馬等奉天に向ふ

昇級の御沙汰 墜落三將校に

等授双光旭日章

月

=

年

意氣込む民政黨

馬占山と 熈氏提携

若槻總裁邸で對策協議

合戦をなて事に意見一致な観に出かけ用ひ

念よ實現せん

窓に使歌、戦航が配に膨胀するが 一般に使歌、戦航が配に膨胀するが でて日本軍のヘルピンな砂形人保 では日本軍のヘルピンな砂形人保 ではな事ののルピンな砂形人保

四平街に新設

を共に難々警接さなり相互に往来 満疆衛生課では今後内縁奥地と涨

八問題を

記者團に宇垣總督語る

大洋正札を 圓に書換へ暴利 奸悪な哈市の商人

礦統制は

く凡ゆる無聴なし

るのも様はで、

山岡長官に謝辭

伍堂滿鐵理事語る

へも吹きかけた▲斯んな 或重大な財政問題で一夜の

総に含ふた▲控網されるのが監燃

であった人で仕席がないので

の諸工薬にして、工業の諸工薬にして、工業 金融機關の整備改善が顧ること (同常四目) 製 明 要 旨

機度か生復させ到底こちらの目的 機度か生復させ到底こちらの目の でかせ復させ到底こちらの目の であり出れたのか▲夜中わざく

研き直じまずざ新しい安全剃刀の刄は此機師で

雅匠九六四六番 局

3.

の変も影も、兇気に打ち、

商議役員會で申合せ

施設を行び獣

ですることが明合せた、職して同 のなる説明を添ふべきか、協議し に都果、大権次の処き観旨のもの た都果、大権次の処き観旨のもの

聯合會に提出の 二項目說明要旨

制定し、金組鎖なる網保し、適切な

でき主なるもの左ってき主なるもの左ってきまながり極力生産

占山を通 では趙仲に 整 李性











旅行廢すべ

については浦線にてもつきに老底 力なつがけてある家陸軍隊の歌間 になっても通過のため必必の勢

鮮滿案 議開催 内所の 良林局の設置も三 お田倉職は例年四

年は時局の関係から親祭献が根密 に増加し、また非込も契いため東 に増加し、また非込も契いため東

間索天か大連で開催されるこ て揺籃の事情が一 統不要は感じないさ

A PARTIE



東に取って恐れ 大るが飲着は管って恐れ

小祭?も人様から、際としまる。 と少い時でも一時は必ず酸をを選び、 が、際に弾と連コに真り多い時は敷除 が、際に弾と連コに真り多い時は敷除 が、のでも一時は必ず酸をを選び を受いる。 をでも一時は必ず酸を が、のでも一時は必ず酸を が、のでも一時は必ず酸を が、のでは、のが、では、 でも一時は必ず酸を が、できる。 でも一時は必ず酸を が、できる。 でも一時は必ず酸を が、できる。 でも一時は必ず酸を が、できる。 できる。 と。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる て東都にあつて前後十餘年間、大 高名・日銀等へ出入し▲正金頭取 高名・日銀等へ出入し▲正金頭取 が上氏さ随分解次接触した 株に 大職大臣さに歴任した 大職大臣等に歴任した を 発 洋 行撃 発 洋 行撃 発 洋 行

羅紗常厚司

山本洋行

ント争奪戦

滿鐵から二十五萬樽

田魯イクラ 一金澤名物針甘薫煮 大建市信濃町市場 大建市信濃町市場 大建市信濃町市場 大建市信濃町市場 大建市信濃町市場 大連市信濃町市場 大連市信濃町市場 大連市信濃町市場 大連市信濃町市場

連 品質本位桝目確實配達迅速 白米變動相場は

連鎖街の問屋大島屋

2001112



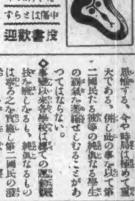
マホーコタ

最新出口式 マホーフ 全く火氣を使用しないから火傷や火災の並びの一个品の二二億 でにく残御収扱に便利な事 がら一般家庭に登録する でいるのでは、 がは在来品に炒る事 のこさなく教験を含またげる愛ひのない事 のこさなく教験を含またげる愛ひのない事 のこさなく教験を含またげる愛ひのない事 がから一般家庭に食物が評を受てあます 一個四十五銭

新 特種がフィになる、新版語者と れば仕事にならの、抗新販売し れば仕事にならの、抗新販売し

特別の機械を以てお研ぎ致します
→各種刄物、大は斧から小は安全剃刀の

たします ◇弊店にてお買上の刄物には無料研ぎ券 萬泉及物店 解等の柄も質費にてお取換へい



伍堂理事が

上海慰問

十三日に出發

◆今回の滿洲事態が日満日露戦役 助上に戦大なるここは君々充滿 電館の責任者たる否々父兄は勿 常館の責任者たる否々父兄は勿 が一個氏の液

も、純純なるもの

生に在っては一家院成後中国を をしい満洲に生れ満洲に嫁ぐ女母 である。

等単生の内地説問能行を爬す にさつて 海 で、同理事は十三日最大連丸にて な嫌のてゐたが今時満鑞代表さし、 を持つてゐたが今時満鑞代表さし 能物一週間の鎌定である。 衛生調查委員會

カらす、之に溶用版に飲金せる 日午前九時半から開東職會職室にはむる以上に彼等に愛国標準を確 然で湯洲チフス病滅に関する事政 せもめ得る最も好き響する。 日本前九時半から開東職會職室にせるめいたは関の戦災を知悉 同臨床的處理失他と言いません。

盛氏は十日長男忌明につき金二枚渡資金寄附・市内霞町八八金

大連市監部通

代理店デワーハウス 動河口元町 砂河口元町 が河口元町

地京り強はかいすつ番馬官よな生主教特値下かてもりにい ちさすしに殴るち菜身主始柄 せ白 て部のい間めにすつか 七在 反映點・安まな・て豊

備洲總發賣元設置記念のため

芳醇佳味、如遊仙境

潞日本正宗 日本灘木原吟醸

發行所然中日文化協會養賣 大阪屋號書店 體體 滿洲寫眞帖(最新刊) (最新刊) 送定 送校 十二 送报 一十二 送报 一十二 送报

日本國民の一人々々が標準的本地圖を座有にして、諸線の正確有る基礎概念をかある。 (母輪・定復式側五十銭・送料廿七銭) 力をは、現事、北支那地方の現勢を知るに最良のものでか租借地及中立地帯を色別さして一目のもさに極東の理勢を知るに最良のものでか租借地及中立地帯を色別さして、関係の正確有る基礎概念を

地 晶

最改 新訂

▼時局多端これだけは是非至急備付を!

日

が関中に約二百グラムのモヒな

本署に連続戦争、岩

【東京特徴十日韓』及う選では特徴により紀元節の体展を下 社會事業團體に 三脚盤、女部所管六十 光榮の州内十四團體 封下賜

九熊熊に新し事業御教献の思否を以て金一封宛(計二

中の京城市機が町百十一焼き飯頭 東岩本常寺(こと)と同じく京城市機 中の京城市機が町百十一焼き飯頭 器職派事は東魏総科学店で遊興 一味ん選州であに至る法の経緯 は登場が進場である社の経緯 かのでは、前部の短く九日午前一 は登場が進場である法の経緯

大捜査かな機をかられる。

らりので更に接近範囲を擦げて山 の手が頭にまで進んださころ、十 日午後二時頃過然型深で山西七九・ の手が頭にまで進んださころ、十

有力な實業團體が

は、ので、内部には歌祭モーター二家、紫作機関等が影像されたり昨年緻いされるモヒ、機械類等を證拠品として押牧した、特別正達首魁。外雄(Ai)始め技師、助手等六名を一網打無に逮首魁。外雄(Ai)始め技師、助手等六名を一網打無に逮 味逮捕までの りさばん 無に逮捕

既に三囘に

製品を賣

るモと窓造技師窓殿五八(14)同助 発心田勝次(14)秘密駅観人東方同 には、水一名な では、水一名な では、水一名な では、水一名な では、水一名な をものである、なほ犯人一同の自なを対象は観察官の観燈をうくべく閉像でして凱歌からげて本書に引き掛け **勢東邦雄姫の昭和洋行にも騙**あわてふためき逃亡せんさす 午後四時一野に

月二十日より讃機師の語

成の出て來ることによういた意 、唯に機能さい。し、萬一は 、第一日は一般に表現された。

川美子孃が來連

き歌姫

機会を機めた。「公日電話」

旅順では

本社主催で華々しく獨唱の夕

◆・・・巴里 の検索でを検修なすべき歌手さらて認められた宮 オペラ歌手さらて認められた宮 地差子機は昨秋時朝以來密都に 地差子機は昨秋時朝以來密都に 『滿洲號』に收入献金

(樂部後級の下に歌べこく板歌 館に於て本社玉儀大連清媚社覧 館に於て本社玉儀大連清媚社覧 ◆…本社ではこの無限を の期待にそふさ共にこの郷唱會 の期待にそふさ共にこの郷唱會

洲號」に脱金する

の本社収入をあげて全部としの満州教秘法を食に配念するため解析を表しており、宮川美子織も飛満州でしたの構造をできため解析を表しています。

子 「東京十二教」 井上郷と助氏狙撃 総管所政務総院は井上神風相の適 と去る五日井上氏の遊説を降きた 家の祖失は東大である。 財界の を近っ窓は十二教訓練の助郷へに黙 膨について膝る ・まる五日井上氏の遊説を降きた 家の祖失は東大である。 財界の が一次は一十二教訓練の助郷へに黙 膨について膝る ・ なの祖失は東大である。 対外の ・ なの祖失は東大である。 対外の ・ なの祖失は東大である。 対外の ・ ないるここでは激素に異れない自 在は称一時間押上邸的:

台鹿一本二十號

着荷新 港バ甘座う

ン酒のの

り素素豆豆 個りの付味*上苔海きやぬ

小判 形化 社 石 俊 小り が 化 化 在 石 俊

中後中します

19.

日本各地名産

拳銃の出所

郷里で練習

清明

東京風菓子謹製

界各層酒類

食料品

來る十五日東京を出發來滿

り満蒙視察

日本商議主催·满洲日報後

部段

变

三月一日司司 四月一日ヨリ

る産業関係が約二旬に取り視察する産業関係が約二旬に取り視察する しさする消費が約二旬に取り視察する

國體聯合會算正太即氏

数の像定で、今日



路谷融融は米なて、農経際の日程・のほか京都、名古屋、常多、掘

· 東岛會島山一清氏 (機械



5れて居るが郷々の歌園者だけ 生いふ酷年六十 主があるが郷々の歌園者だけ をお願さして畑の 名勝繋さして畑の をお願さして畑の 學師及ど入學を項へ那非二錢封入教務課院申込アルペシ 大學部(畫·夜) 製作国月一日ヨリ

紀元の住長を

陣中で祝賀

上海出動のわが海軍

ヒ密造の家

(下)は設備整へる工場内

その窓公に関する寸志な数すだ 大学生 ②文部大臣紀担定②本業後無試験開業 の学校 校舎の設備、教育の實際、寄宿舎生活の内容等を設 の言。

外川薬 プロメチール 外川薬 プロメチール

ロイマチス

神經痛·関節炎

の網状の因か為した井上な

一般から成形な説的か受

の住民をここほいた、陸上部隊も午前九時輪校指揮的戦権のの住民をここほいた、陸上部隊も午前九時輪殿の心臓に巨九時半全艦就紀元、大上海十一日費」第三艦隊の機械のの堤に上海港内から呈展

精士を代表して東天か拜し降中からの施理式をな 正午全統統一斉に廿一数の息職地を続ち江南の

日本大學科文科

概さん取った。

軍隊警察官

紀元節を迎

7

在満邦人の祝賀

健全派念祭

理解いて軍隊、野海官の配金 WA 大小でおり、正午公舎堂においており代合眼、山崎歌書の登録で撃上り代合眼、山崎歌書の登録で撃上り、一次の高麗三眼なら午後零時三十

徴口に於る

解へられて居るが用心にも一緒まであげられて旗性もやっ

紀元節

透陽の紀元節

大連靜浦同見騎臺同初音町其他

管み中候に付御を會相成度候 協前大藏大臣井上準之助氏の追 と競技の方で

如く諸堂に於て卑式、また る印刷 6

(可認為促動 巨馬)

自魁東邦雄三シを始め

味六名

取り緊認のより掛きたなしてるた 上海が酸でモヒ酸率に従事し、水 るたものであるに繋手し、既に今日までに三回し 又も低技師を無取ってるる神脈は 準後 神様行に

大連署の手で

し就縛

一旁に 対が代収を発唱、ついて東ボの一層に対が代収を発に大関族は搭線が、対が代収を発に大関族は搭線が、対が代収を発唱に大関族は搭線が、対域を対して、 ボグラウンドに於て建國祭の十一時二十分よりは旅順運動 アに於て敬語を築け、それより千 を駆げたが、集れる諸関係 で有さして、永山市長は 建國語等 に向って最敬馨を行ひたるのち

痔性內

疾一切新知病、X光線

来無原性暗客町は大岡静線線と在れた。

四千名参加して

暗殺の機を

五日から狙つた

犯人小沼の取調進む

長井印刷所 大連書田町 京都支社

東海、地町二三ノー

大阪、東原局遺橋三ノ二〇 京都、四條通篇小路均 艶町は有奨町ニノ九 北海道支部 京城支

業務大擴張有給外務計員募果 東北支社 名古属支社 竹章。 大町三ノ一六〇

台 舞 菅金柳

大正生命保險株式會社 本・北・東京丸ノ内有深町・東林取稲役・土・東京丸ノ内有深町・東林取稲役・土・長

確定配當金附、生存分配金附、加入者本位。趣味と實益の兩立。

祝存養老金炳(一名三倍保険)斬新なる保険の提供。

● 電話に於て配催に決定し過股の 局十二日午後三時から繋天事務所 なずため客地にある十五ケ所の支 職傷の保につき協議をなしたが結れてるた客省各機関への致付整理を 職傷の保につき協議をなしたが結れてるた客省各機関への致付整理を なずため客地にある十五ケ所の支 が表現しては九日午後一時

會十二日開催地委常任幹事

東三省官銀號

貸付整理

た夫職二百七十名な急派と交戦と 歩兵隊二百七十名な急派と交戦と た夫職二百七十名な急派と交戦と た夫職の野災であった為み保健隊、 た夫職の報呼る約六百名の一

【大石橋】元精苗代大石橋野祭署 長着赴任 新舊大石橋署

岡部上等兵の

嚴かなる軍隊葬

物質するや獨立主倫院第三大隊熊 城中除る限及さ共に直に河北 氏は七日午 熊岳城倶樂部で執行

い設かや諸蒙の天地者々其の功の設かや諸蒙の天地者々其の功の関連を異にせる殿友職はるのみ嗚呼悲しの諸ない。日本は一月七月午後三時君の悲報職す一月七月午後三時君の悲報 日下在河北方町蔵方面に三百の町野瓜をなしつゝある

婦人會慰問

を警戒

岫巖万面馬賊

とやは観安されば氣相の間又登記の手動料も減少して

大虎山驛長に 軍部から威謝狀 滿鐵社員には始めて

健全祈願祭

液陽神社で

市場會社成績

 歴謝版が贈られたのは之れが最近 と続来院三郎氏に靴と光成第八版 のやむなきに至ったのであるが十 と続来院三郎氏に靴と光成第八版 のやむなきに至ったのであるが十 と続来院三郎氏に靴と光成第八版 のやむなきに至ったのであるが十 を開き付井清か少將は左の如き窓識 二日の同會で果して閩浦なる解決 監目は午前十時から午後二時窓の を開きて関連なるを発達したが を目は午前十時から午後二時窓の を開きて関連なる解決 を見るや命や庭るに自されてゐる を発表的他全が顕然を執行したが と記している。 を見るや命や庭るに主ったのであるが十 と記しまであるが十 とは、一般に清殿側下附になった。 を見るや命や庭るに主ったのであるが十 とは、一般に清殿側下附になった。 を見るや命や庭るに主ったのであるが十
 本見るや命の庭と表が、これてゐる のやむなきに全ったのであるが十
 本見るや命の庭とれが最近。 を見るや命の庭と表がしたが をは、正は、子前十時から本後では、一日午前十一時か 全滿米較同業組合にては來る廿二 組合定時總會 全滿米穀同業

四十五分費別車で赴任するさ、因

大谷司令官視察

往來 野粉后長 九山

(版/

滿洲號寄附金募集ご 軍警慰問映畵會

大石橋で開催大盛況

と並に感謝の意を表す に関こ終始頗る献身積極的なる に関こ終始頗る献身積極的なる に関こ終始頗る献身積極的なる に対立所線の軍事輸送業務 を由、打通所線の軍事輸送業務

東の家を張るさ をかいに然て経経谷名上を指係し版が を表すると 立五年に相信するので同日は總會

なであった、因に東海林中陰 なばの溢れたいさもしめやか

警察署員異動

戦山在城 駅が売まじい鳴き戦かが 数山市内 また切つたやうに戦り 一りの上を渡るのが既えた。よもしばその喧嘩が静まるのなまつて、 聖をう 音楽がさだへた。しんさ

まもぎの機はもんごり打ちながら さよらぎが共の言葉を繰返した ▲文藝俱樂部○ る冷蔵館の穴の中に領逆 79

「駒太郎が

まつたの。

その後で 言葉を繰返り 17.494/44 OiH!

なる事質を見職し安陽さ夢びの底 なる事質を見職し安陽さ夢の我忠明な なる事質を見職し安陽さ夢の我忠明な なる事質を見職し安陽さ夢の我忠明な なる事質を見職し安陽さ夢が吸水には 女生徒の純情 棉圃品評會 褒賞授與式 の罪人ちとい、この職者で指揮督のの罪人ちとい、この職者で指揮督のは、獨立追職婦兵邀與と貼けつけ徹外につきめたが遂に全焼せしめて午後二時職人、原既は子供のの罪人をといる。 **『大石橋』大石橋大街六九番州橋** きん石橋の を贈つたので木器では共貨心を 梅月旅館全燒

錦州の新興振り

治安は軍部の努力で維持さる

山地には依然匪賊が蟠居

ないま

天輸入組合書記大部

らうとた立派な迷さなって來るであるた立派な迷さなって來るであ

が語る

一隻鷄一味

官兵ご闘

る純統金を以て各地にある戦死者

ち純統金を以て各地にある戦死者

を純統金を以て各地にある戦死者

を開催しているとのではなる。 限に提供性皮金三千八百餘間 の猛烈なる噴水に打たれ火峠の屋 を関いて、まして、まして、まり の猛烈なる噴水に打たれ火峠の屋 を買った。 を展天に設置する事さなり 鎌定で場所について極力激定中で備中にて本月二十日頃より繁桜の を派天に設置する事さなり目下郷今回奉天の登版を期待し同校分校 【奉天】大連の日華自動車學校は 自動車學校 こころれ唇ふ在天の英鑑原でより質な事が以て君の死に動ゆると歌一同協力一致愈々至誠奉公上隊一同協力一致愈々至誠奉公上隊一同協力一致愈々至誠奉公

接次時から金龍率に日支各方面を

錦州兵站支部

本天指以前長五

中で氏は十二

たの処と戦闘祭を奉行さた 建國祭を舉行 蘭店 館州の兵站支部は十一日限り閉館 平安座の映書
株父宮妃

の催じがあったの能しない。 神武天皇詔勅捧讀▲萬彦三唱▲ 神武天皇詔勅捧讀▲萬が代合唱▲ 時日 十一日午後六時三十分 時日 十一日午後六時三十分 登記件數激增

十俵を十日率天器に寄附こた 白米寄附春日町六番地大 初年看護兵 無事着遼

の登記係も五日の大晦日は流石蔵総で大多性を纏めてゐた民政

四も居ない

登列車で着送した 七十一名は戦山空備隊において選問御成功院附さなる初年看許 領事の招宴 台。 脚東

保に整轄十十年後四年 見る郷客を極め三氏は各が配の見送り人 水道係主任更迭 ゆるがんば 「何たなさつてわらし

しまの椅子に戻りながら訊いて見いて、また。さ、山うばの前は職くやうに、 はらばの前は職くやうに つまとりながら訊いて見い すもの。でも大丈夫のようないである本にのが傾にもならないで 、脚べて見たのよ。」を答へた。 うく場かして

のは勿論者本さんではないわ。さ 「では話すわ。」と既に異ないで も島渡あの部屋に遭入つて行つたお見さんが見つて來たし、わなた のですが、二人さ た落して語り聞けた。 ち去つた 後だつ

四三、 水 奏 通 歌 花 夫 組 資 剛 花 連放送局より 派情」(微三派)。 些

長春警察

時局寫眞展覽會

(四)

皇軍な惯えて開戦生活の智況、上海陸戦隊の活動等な本社特皇軍な惯えて開戦生活の智況、上海陸戦隊の活動等な本社特層、鎌州、ハルピン共の他演奏各地に於ける皇軍の活躍、南鎮、鎌州、ハルピン共の他演奏各地に於ける皇軍の活躍、 主催 滿洲日報各支局 冲漢氏招宴 いから秘密を聞き出す時が来たさ思いから秘密を聞き出す時が来たさ思い

二月十三日 本溪湖小學校講堂 二月十三日 本溪湖小學校講堂 二月十六日 據順中學校講堂 二月十八日 遠陽小學校講堂 二月十八日 遠陽小學校講堂 二月十八日 遠陽小學校講堂

でするのだらう――さ思つた時。山をさぐつてゐるやうである。何ををさぐつてゐるやうである。何ををさくのである。何を 市場の焼がきらりさ油のやう

立ち上つてよ まいかの

っぱの面は為すべきここか母も終するのだらう――と思つた時。山 取を迎人ださ云つてゐるのではあ なか知つてゐるのではないかと疑 なってゐると知つて、わざさ駒太

の。」 「たして験太郎が父ん総したさ云ふ 見た。が、すぐ安心とたやうに歌いないっぱいない。 はらざは自然に起がはでんでる (テキスト郷人用の郷方へは差別大連結単校籌編グロースマンス・) (デキスト) (デキ

連

POAK

疑はしき人(四)

河

野想多書

鐘

(194)

「では、「
「では、
「
「
ないのよ。」

ら、また一方では此の山っぱの段 ら、また一方では此の山っぱの段 か、遊覧の将装の下にあけみが

からかり) 定價二十級、東

▲九州(二月號) 定領一ケ月八上五鎮、楊岡市中島町二番地九号

4251 ヤ人白金指環

8692 9645 見

四等 150 1011 1246 1557 1663 IS72 也 2103 ツ

五等

番號は各組全部へ共通でざざいます。 で執行、右の通り常籤いたしました。この常籤 抽籤は一月廿二日東京小間物化粧品商報社に於 神のでは、一月廿二日東京小間物化粧品商報社に於

二、曹昌明様は昭和七年三月卅一日降り、以後は無效でございます。 で、お符ち下さいませ。

 \equiv

-

「機能などうできい。引徳に常義祭品をお送り申上げます。 できる方は地像名を東大市と近に常義祭品をお送り申上げます。

淡雪のやうに

色白く、きよらかに、美しく…… 然に防のウテナ響日クリーム(卅銭、六十銭、一回)な素酸に、郷化粧に、おヒゲ刺り後に、日常の実践形

13-0

負傷者と告別式

者腰原伍長の告別式、下は十日午前七時四十分着東支列車で到着したハルビン(高典上は十日午前十時長春駐剳第〇〇)が従集實所内における双城堡の戦死

(E.)

張軍匪賊討伐

の激戦

敞野砲陣地を攻撃中 あり、これと相呼應してわが〇機も空中より爆撃中で敵軍に相當の損害を與發至急報』江西西方の敵の野砲陣地に對しわが野砲隊は最早一時間に亘り 機野砲相呼應

數ケ所發見

敵弾敷ケ所に落下す 日四時開始

した此の間敵の野砲迫撃砲彈千愛里女學校附近北四川路一帶に十數個落下 十日午後七時半敵は霄暗に乗じ三義里の〇〇〇隊に對し機關銃及び追撃兩で夜襲して來た CCC隊はラ 帶に十數個落下 し 邦人

零時過ぎ頃敵 默さす

は雨軍減を挟んで繋峠の艦我軍は尚自軍 し來たつたので應機十二時過ぎ沈默せらめた、精深

し我軍自重す

『空母艦の制限と

殷止に考慮の

用意

題字を更改

軍縮促進には變らざる熟意を

科學的戰爭廢止の用意あり

上に於る

伊全權の演説要旨

女全保障の

提議に賛成す

精神的の軍縮案を提議せん

賛成出來ない、

案を遊出し傍聴席から大鳴来を

握手攻め

ランド代表ザ

波代表の演説要旨

安全が

ポーランド代表の概算経るや議長

陞叙の御沙汰

稲仮進に して居ら 限のトン参及第1径の第2、時間を を変と、 を変と、

權の演説要旨 温楽の維新を製造とた

#



署から十一日着任署員一同に挨番木管部へ大連水上署動務○長春

廿有餘年間此の地方の開拓に 努力して來

た日本青年男女の業績と目標とを見よ!!

されゆく支那政権の融態を見よ!!

国んで、

嗷訴」に集合した三千の大衆は、××

何事を訴へたか。積惡のバク

即鳴らい巧らみが起こった。 をう思って彼は金剛りさへとた をを整か出た武村は、寛下な一 方へ歩いて行く。 を表してある。 を表してある。 を表してない、一つ歌ってるなかった。 かう云ひ乍ら武村後三は、明実

からそれが出てくる?

ら新奇な機構が生れないで、世界のぎ こゝは見るもの異新しい曠原だ、こゝか

マンを捲き起した「國境」!!

一大センセー

1 嚴重抗議 歌わらせらる極続である。正三位動一等 井上恵之助 正三位動一等 井上恵之助

東亞

0

謎

或

史

抗畵 伊藤

順三

表明してるるが日支限回間にかける観察のが気に戦気的に上海神辺に中立地區へ設定する事は全然別に中立地區へ設定する事は全然別に中立地區へ設定する事は全然別のであるさなしてあるのは計画

かうぶつて武村はその男な、暗

て彼の枯さだに、拳銃を管子に腰かけてるた。

十燥の電燈のさらつてる

・部屋さいふより物置であり、

からう。兎に無一應機査とて見よ スパイでなければ加入させても 「一人でも實践は多いががい」。

部屋の中に一人の人間があた。 それは南部氏ではなかった。 とかも実織家館の、比快で監察 しかも実織家館の、比快で監察

非人會したいさ申して居ります。 これは金く意外のここであった

間 CID

、見も何も連れて來ました!

ボンベイの草で黄春の食泉が あたのは、朱は豚のこさに他なら、 ないのであつた。 武村は頭下を左へ脚のこさに他なら、 での正臓に都屋があつた。

局橋船長射殺車

ら天然痘患者 海避難者か

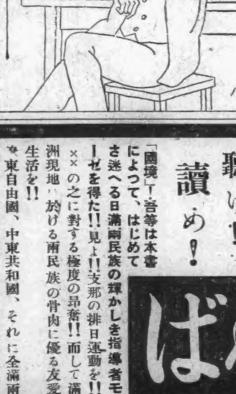
非武裝區設定反對

上海の中立地設定ご別問題

本語、電響を表現 (本年三月から海繁和介の) につき殿く海洲から出記されたい では本年三月から海繁和介の) では本年三月から海繁和の) では本年三月から海繁和介の) では本年三月から海繁和の) では本年三月から海繁和の) では本年三月から海繁和の) では本年三月から海繁和の) では本年三月から海繁和の) では本年三月から海繁和の) では本年三月から海繁和の) では本年三月から海野和の) では本年三月から海野和の) では本年三月から海野和から出記されたい の様手の繋で離べた。

間る譲渡をならたが聴衆何れら熱する・清線社員倶楽部で思想回題にから満線社員倶楽部で思想回題にから満線社員倶楽部で思想回題に すぐ、彼の心の中へ、一ちっぷっぱんだか知れなかつた。

変更致しましたが歌和) とことで配した模様は旭



-ゼを得た!!見よ!!支那の排日運動を!!

洲現地、於ける雨民族の骨肉に優る友愛 國青年等の協働協立を志す地上の樂土農 東自由國、中東共和國、それに全滿兩 ×× の之に對する極度の昻奮!! 而して滿

せ集る青年男女の群々!! 民の都市國家、「放射路街」建設運動へ 支那の 列國も呆れる 軍用機の租界通過ご 吳市長の不遜な回答 不誠意

特に婦人子供の参加を歓迎する 特より同リンクに於てキシーズン の大會を単行すること、なつたが 他の不識意にわされて居る

發黃聯煙。多以良書房

を一間注目砂糖と実際性寒で「君」 は寒寒な口源で輸ぶ天躯脈位数画 の大器を稼載し、次で小服大連市 の大器を稼載し、次で小服大連市

大示威行進

八雲陸戦隊も参加して

親は定刻前辈とも式揚を埋め、大和民族のみが知る費き園民能感激の波に魅みまれたれた、朝來務光燃々微風だになく、經緯の家殿日和、大君の曖昧と皇軍の武殿に満州野の草れた、朝來務光燃々微風だになく、經緯の家殿日和、大君の曖昧と皇軍の武殿に満州野の草の、院中容説の皇軍の勝士と落蒙新員象選談を控へて意義深さ中央公賦忠憲塔前に於て駆行り、院中容説の皇軍の勝士と落蒙新員象選談を控へて意義深さ中央公賦忠憲塔前に於て駆行り、院中容説の皇軍の勝士と落蒙新員象選談を控へて意義深さ中央公賦忠憲塔前に於て駆行

に皇居を拜

天皇陛下の萬歳を三唱

市民感謝大會

、随中幸殿の皇軍の將士と福豪新國象遊談を握へて意義派き中央公園忠憲塔前に於て集行を院宮殿下多談總長御就任、伏見宮殿下深軍軍令郡長御就任に駐する市民殿職大會は駐鞭の通際昌た書ぐ大連市民の紀元都等殿式並に大連市及び幣園在総軍人會大連職合分會共同主催の

紀元二五九二年二月十一

理全市民を擧げて

総能を抱え心からなる萬能師を得ってこれと思い 影響の際も側にれて一人の機動さ上緒が配における繁星粉土の力験

詐欺罪で告訴

かの佳き日を壽べ

芯靈塔前に 威激

起間の大株戦を管場し、併せてわが民族の養庭と関連

の明氏吹奏禅に関旅降下式な行び下萬能を三唱し続りに「君が代」下萬能を三唱し続りに「君が代」

郷が上にも踏からしめた

な宮中御祭典 豊明殿に内外の百官を召され

いて戦かなる御祭戦を揺させば宮中戦所、皇難殿、戦殿に

優渥な勅語を賜る

この日 野所、緑極配 この日 野所、緑極配 この日 野所、緑極配 で、大都高相小下谷岡都大臣 で、 谷前で観光、 空源軍大権の

東武官長以下侯率、松式都長官 東武官長以下侯率、松式都長官 東武官長以下侯率、松式都長官 東京官長以下侯率、松式都長官 東京官長以下侯率、松式都長官

には内掌製の派仕

一元首ノ健康テ献

首相奉答文

整辞臣ニ代リ忠慰ノ厚キテ謝シ 整字質祚ノ無闘テ祈り奉ル

は滿都の際年學生

ハルピン附近の聴眠において電像 した兵士州名は十一日午前六時四 十九分響が車で長巻に後送されて 来たが、うち終傾着二十四名は同 大時三十分要列車で最齢能収納洗 に移送、電似者六名は長春能成納洗 に移送、電似者六名は長春能成納洗

吉岡刑事の

お手柄

北村小松原作響。輕妙瀟洒立優茂亞篇

小松原作智の輕妙瀟洒を食茂亞篇・蘇の事や語と歌響情報ない。

長春に到着

び愛宕、リニスプロー

-大編像十郎(=)及

計

偸皆

悅樣

郷の

M. B

してゐることを自

林長次郎高田浩吉主演・飯塚敏子浦波須磨子柳さく子大競艷

ピンの

長春引揚げる

の飛行除歸還 ハルピン出動

山本学伝統戦の臨時野戦前砲艦へ年前四時長将着戦用砲車で帰還したが一瞬日中に率天へ向ふ智【長れが一瞬日中に率天へ向ふ智【長

機であったさ云はれてゐる 附近部落火災 安奉線吳家屯

ゼーシュクリームを相対の中鉄

一五八二五一

の頭痛にノーシンの

紅

茶

¥

チャッカリしてるわね・湯田自慢の小唄ナンセンス篇龍田解枝花岡菊子新井淳清水將夫大山健二小林十九二 共演

ハルピン出動の飛行機OO楽は十

就縛

十一日午前五時販送索線具家屯東北京三型の地版にある支那都第二十数個所より火災趣り美々さして職人上つてなり、総整盤にして職場大力を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表しいで、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変を表して、大変をなりなりまりまして、大変を表して、大変を表して、大変を表しくなりまりまして、大変を表変をものでするなりでする。

匪賊襲撃し掠奪

大正十一年二月己己節刊刊

桝洲から北海道を股にかけた

近の大地辷り 龜の瀬隧道附

人掛な紙幣偽造事件

連尾ツ 總參謀格に 春日町の國松方で屢々謀議

名を合せ一同大連職社に数様と

大犯罪檢舉の端 鮮銀新山

10.16

說寫明眞

大連市民の紀元節奉祀式(下)市 (上) 虫靈塔前廣場で擧行された

英姿を

大示威行進の八雲陸戦隊

各所でも

東南へ十十三リ大統派の他所は東南へ九十センチの北も移動とついありむ中センチの北も移動とついありむ

吹か逮捕

光衛衛院

ふぐ料理の本場は 其上百萬圃の保險附なれば 命に別狀なし安心して るしあがれ

ツルらの自白で芋蔓式に

なつたが本年人四月五十(第三種)の順日その第一次晩職 激侃に を 一種及び第二 から大導に於ても旅行される事に監験お田俊綱者撤定試職は昨年度 氣技術者檢定

すき焼、一品料理

寒い時には

ふぐ料理

後六時三十分より貞樹がに原て臨 技能調査の結果によれば一日平地 並にが向につき十日夜西間大阪府 がにが向につき十日夜西間大阪府

松宅を包置し七時五分で期して一

債券專業

骨相による運命の鑑定 本警務學會

松尾盛男商店

三十日間 | 经二厘

日本佛教新聞滿洲支社

けたいさ思ふのです

○ 二月二十日之 ○ 二月一日 ○ 二月一 ○ 二日 ○

特診 痔疾事門 内

大連市西公園町トキッ松 田醫院

一、大連取引所級勢信託株式會計 株等 工九〇、三九一、三九二 三九三、三九四、三九二 一七一八 一七一八

1以内ニ酸見セス且美議ノリリス

一、配偶者の撰擇指導へ家庭問題の指導

貸出勉强

レノロジスト

伯龍子臨時鑑定所執

7

馬鹿

「製作さるみな脚に(双なな脚げ で、こんな脚迷惑をかけるんだへ で、こんな脚迷惑をかけるんだへ

を持天ぶらとゆ手経-な料理

薬付き掘って高笑い。

否 早等

して明きませる。ほ

桃中軒雲右衛

市中行進を対けるの八里を組織の市中行進を行送が表現してき間がレースの八里を組織の

氏の正性も昨日来連てハッキリミー 味がある▲「前間を優れ」は遊廳

な学校前の高等

・多な宣傳する為の特に大勉強で左記の通り御往文に座じまず、只見ていれど質部を設ける場になります。支部人間には相當信用を有して関りますが今回では、の (祖) 社) 文 は 是非大 連 唯一 の 世典・全 店へ!!

金

20

「へた……そんなに御念をお知

百杯でも二百様でも、

○本業も大いに製造する流行語でこのお客さへ多かつたら館はサン

□●飯塚敏子●世人最初の時代劇が

情詩篇を見よ

もきれず窓に麻上映の燃脚脈行で、中間値は「白い崎」まで辛地が

「それちや御主人、御目にかけま

おそくなってすみませんが、見

日

た若いながあつた。

(明きたいさ思つて歌りな

「遊棒、遊樓・」

見たが、女の姿はもう動も形もなくして、おづく、格子戸な閉げて

大師筋は原

するお土無代りにでもこの側においず経路で変なのかも知れないが経

佐々木監督以下

日活俳優來連 大毎茅野氏か映畵化に

活現代製部では今回の事盤に於

今日の映畵での上映 ウヨシ・ルヤシベス D

▼週冷剛渦布に適す

適應症並びに皮膚の疑嗣に依り隨

のみのコバタ

\$

憚りも

なら烟草めせ

めせ

スモカ

湯又は水にて樟椰しタオル、かし用法又頗る筋便、十倍乃至廿倍に

歴、安静か妨ぐる事なし。 議布の如く類回の交換を要せず

▼絶對にカプレを生ぜず又ペタ附か

等に用い最適なり。

胸部疾患の順患者、乳幼兒の肺炎

動作用を妨ぐる危険なし、從つてを來さす呼吸運動、皮膚の新陳代用するも皮孔の閉塞。 患部の緊軽

液狀なるが故に顕汎なる愚部に塵

試験官が強いたの

頭脑

らかっと

ず寧ろ爽快の内に治療する

日二―三回の交換にて足り普通

空也のモナカ

8

茶々い

つぷくきこし

Usent 中軒雲布衛門 主演·松林清三郎·彩糸路

公職敗仇三味線 に布濕いし正

液 温布

流|肺 感 炎

用を附與せしめたる川法至便の液狀温 全に補ひ更に殺菌、皮膚炎種防等の作 本劑は「從來の漲布療法の欠點」を完 布側にして特に脳部疾患に對しては今 ルの温布に優るものなし。

の手當に X-03

内地より

軍人學生 の視察側

の方々

其清新なる装飾と気持の い事はきつと皆様のお気に ます一卓以上幾卓で

VAN THE WAY

ころには、からこうがいている。 大連連動街銀座通荣町角 VACINITARY

人氣焦點北京料理珍珠中心北京料理

一日公開●

監督山口哲子。

十一日よりの番組の

い時。覗きからくり

(51)

亡新撰

大河內傳次耶主演

野場は

(可可协使郭思三第)

怪奇を探信地味の瓜

その死業

嫁花の獄牢

ので一でを受ったものなのですけ

のは大したものな

を二三度、ペヨコンミ下げた。 を端にも勝舌らせず、何時にない を動にも勝舌らせず、何時にない

銀座セレナーデ

を執った高江漢(阪東 要死刑より救ふため二度 映寫時間 國

対人が金經の中から、百味回かっ金を二包、様える手で香味に変

十日封切

博村津・子寝。淳高 トスヤキ・ルーオ 版書豪大特超の春

信定・装信 依計画一 次〇〇三大 日十五 天〇〇一小

金属郷店に販覧する 詳細文献御申越次第法是

原店 にあり

大阪市東區高麗橋二 大阪市東區高麗橋二 大阪市東廣南久太郎町二 元 (版) 和 光 堂









院醫原相

ーとゼンソクに無くてはならぬ

かせを引いても、セキが出なければ治りも早いが、セキは大利ない吸

三十種(1日分) 五十種(四日分)

関係をラクにし、胸を開き、第分を製作ならしむる、複名の監察家主記 も、ピタリと効力を現はして、セキを飼め、タンを絞り、職業を治し、カタル、で管収カタル、監結後、職長、助験が等の利用なセキャタンに 「意天セキ歌」は、かぜのセキは勿論センソクにも、百日咳にも、空喉 となって生命が脅かされる場となり易い 西に関係が深いから、たとへ壁いセキでも。油脈をすると思はの 糖・症

新良製である。小児の原因なセキャ百日酸に効果機めて偉大である。 大阪北海一丁目

能のが長大、氣管改刀タル、咽喉カタル等のは、既に蓋切ありかぜのセニ、百日ゼキ、ゼンソク、腹壁、及び脈結疾、脈炎

多天堂株式會社

五ナ

· 偽物御注意

ないず御忘れ

の解はそこ シックリと

からもし

こうからも

行ひ熱狂的賞讃

現代新人の嗜好と味覺とに

製菓界の

曉星

(正味四封度化粧罐入)

トフザー

क

ŧ

2

13

IJ

٤

門專科内

野話八瓦〇〇世

とうろうろう

富安

様もこれで治つた

天下の名楽バ

要目

一代鑑、 育機煙突、各種機械

與餘鑄物 酸素瓦斯類 設計、製圖、据

薨城京

朝鲜製藥株玄会社

日本毒菜会社

會株式

大連

機械製作所

LETTOILET Soop

郷楠トランク

製品

一鐵橋鐵桁

鐵道線將附屬品

本店 大連市沙河口臺山町容器、媛姬類

(日曜金)

eaber.

品取

目

扱

三井紅茶 選、海産物、砂糖、舗詰類、排削化學肥料、配情其他工業樂品、金小野田セメント 焼寸、紙類、麻袋、小野田セメント 焼す、紙類、麻袋、小野田セメント 焼す、紙類、麻袋、湯洲特産物、麥粉、石炭、鐵道用品、

其物木各 他鶲材種 食石 機 料類硫械 品、安

始開

七一〇一番

泉温子崗湯

タイヤが他にあるだらうか 82×6 ヘビー程安全な 用ひてダンロツブ新型

洋 68番

行

牛莊、安東縣、

奉天、

長春、

哈爾濱

屋業店

頑

比

じまる

すの

電話六五四四番

一种物産株

會社大連支店

大連市山縣通百八十二番

業、造船業及附帶事業物品販賣業、問屋業、

運送業、

保険並に船舶代

制産

ನಾರು ಮಾರು ಪಾರು ಭಾರತ ಭಾರತದಾಗು ನಾರು ನಾರು

紫檀細工責任販賣

28

銀行

高級

瑞西

ア蓄音器

發賣元

○ミツワ石鹼本舗

見屋商店

頭取。材井路太郎

電話·四三一番

S 200 روي Section 1 人連伊勢町(吉野町角) **文那各省土産品** 回支公

電話六七四八番

進れる 大連市 佐渡町三〇 大連市 佐渡町三〇

百の効能も用ひざる人は知り難し淋病消渇に此の名薬あり .

大連市監部通車郷町角大連市聖部通車郷町角 御粗談に開 應す

金金か大高地販賣店光光や衆洋商 商 堂堂店堂行

商商 洋商洋店會堂行會行 弘小平金小上 開本泰 保 洋洋 商 商 全 握 新 三 七 章 章 音 行 行 行 行 行 會

話商六四

¥ 60.00 No. 60 提ジ 回金御拂と同時に現品先渡 發賣元

貴顯 名流 貴婦人 第三回化學工業博覽會優良賞受領大日本俳優協會推獎·日本俳優學校專用 御愛用

三木元子女史創製

チタニウムを主剤に特殊の成分を配合せる

鮮かな襟化粧

乾いてから水刷毛 方にも 白粉下無して 附着伸びが空前の自粉だからです 苦も無く 見事に出來上りま 何んなに化粧馴れない

から た牡丹刷毛が に冴えが出ます すると自粉は一層沈んで 塗の仕上には 粉を些し含ませ 一層有效であります 特に分子が細かです 其仕上り

記から放切る後は、何うかすると最初一寸調子記を見るとは、従来にない附着と伸びの良いまとなる。 が遺ふ事があります。然し一二度すれば直ぐと お肌に馴染んで、無類の化粧美を現はします。

粉に水を足して焼き なたら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を たら水準で焼した白粉を 光さいではなった。 を変して探さるか。 なる。 素で浮いた自物をきで、考く でなない。 自動なる 来に無いた自物をお でななない。 自動なる 来に無いた自動なる。 変した自動なる。 変した。 を

粉(白机滴肌)各金四小水(白机滴肌)各金四小 ロ 類 クコ クウ 白 化 クリーム 自和 エ 紅 ムドムグ | (自・肌色) 各金二十五銭 (自・肌色) 各金二十五銭 (自・肌色) 各金二十五銭 (自・肌色) 各金二十五銭 金五 十 銭 金四 十 銭 は温税運賃を加ふ 金三十五錢

種類と定價